

2021 年度

成蹊大学
FD 活動報告書

2022 年 3 月 31 日

成蹊大学全学 FD 委員会

本学における FD (Faculty Development) 活動は、建学の理念である「自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す真の人間教育」を踏まえ、教育目標（人材育成方針）を実現すべく、教職員が教育活動の内容・方法を改善し、向上させるために組織的に取り組んでいる活動です。本学では全学 FD 委員会をはじめとして全学的な内部質保証のための組織体制を整備し、精力的に FD 活動を展開してきました。この『FD 活動報告書』は、その活動の概要を公開し、多様な観点からご意見やご批判をいただきながら、私たち自身が改めて自らの FD 活動を振り返りさらなる改善に向けた取組につなげていくために刊行するものです。

FD 活動には「守り」の側面と「攻め」の側面の 2 つのパターンがあります。「守り」の FD は、FD という概念がわが国に入ってきた当初に盛んに行われていた活動態様です。例えば「黒板の字が読みやすいかどうか」などから始まって、授業の構成や分かりやすさなどの改善にいたるものでした。学生の授業評価アンケートとセットで推進されることが多く、効果としては学生の不満の解消が主だったように思います。一方「攻め」の FD は、時代に合った教育の在り方を追究したり、より学生の興味をかき立てるための教育方法やツールの開発にチャレンジしたりすることによって、学生にも教員にも新たな気付きをもたらすことを目指していくものです。

2021 年度長引くコロナ禍の中で本学が進めてきたのはまさにこの「攻め」の FD です。昨年のコロナ禍スタート当初は対面授業ができなくてもなんとか教育の質を維持するために ICT の活用をしようという「守り」の FD でした。しかし 2021 年度はコロナ禍 2 年目になり、ICT やデジタルを活用してこれまでの教育にまったくなかった手法や要素を創造しようとする意図をもって FD 研修や、講習会、授業研究会などが行われ、「攻め」の FD の動きが芽吹いてきていると感じています。この動きは来年度以降もより一層加速され建学の理念に沿った「成蹊らしさ」となって結実するものと期待しています。

FD 活動の本質は、テクニカルな教育手法の改善ではなく、社会の変化を的確に見つめあるべき教育の姿を見つめ直すことだと考えています。2 年間におよぶコロナ禍の中で大学教育は大きく変わろうとしています。コロナ禍以前にも ICT 化やグローバル化の波の中で、大学を取り巻く環境は絶え間なく変化し、それに伴って大学教育に求められるものの変わり続けてきました。今回のコロナ禍の中で加速したものもあれば抑制されたものもあります。私たちはこの激動する時代の中で、大学教育の在り方を見つめ続け、守るべきものは守る、直すべきものは直すという絶え間ない努力を求められています。それが FD 活動に他なりません。そしてそれはまさに大学の存在意義を社会に示すための活動そのものなのだと思います。

成蹊大学の FD 活動報告書を初めてお届けいたします。成蹊大学における FD（ファカルティ・ディベロップメント）への取り組みは、すでに 2007 年に「成蹊大学 FD 実施に関する規則」を制定以来、15 年の実績があります。したがって FD 活動については、FD 活動の認知、そのための制度の設置、FD 活動の定着の時期はすでに過ぎ、安定的に活動・持続的に改善が行われているかが問われる段階でしょう。そこで、着実に実施・定着してきた FD 活動の現状を把握・報告するために、過年度の活動も含めて FD 活動報告書を編むこととなりました。

言うまでもなく、全く予期せず始まったコロナ感染症の世界的流行は大学教育にも厄難をもたらし、2 年以上経た今も続いています。成蹊大学では、将来の教育の ICT 化を見越して大学全体でのインターネットインフラの整備・充実を一步先んじて進めていました。そのため、その後のオンライン授業に代表されるような世界的教育の変革に遅れをとることはありませんでした。もちろん、それには教職員の真摯な努力があって初めて可能だったことは言うに及びません。

「2021-2022 年度 FD 活動方針」では、“授業内容や従業方法の改善”、“ICT を活用した従業の質向上”、“アクティブラーニングによる少人数制授業”が主な重点的施策になっております。もちろん成蹊大学の教育の将来を見据えて、従前よりこれらを課してきてはおりますが、オンライン授業スキル等の急速な教員への浸透に鑑み、これらはより前倒しでの進捗が期待できると存じます。

FD 活動の一環である ICT 活用はオンライン授業に必要なスキルを中心に、一気に教育現場に浸透しました。そのおかげで昨年度も、高等教育開発・支援センターで主催している FD セミナー、FD 研修会、授業研究会等も工夫してオンライン開催にすることで、開催を継続することができました。さらに、成蹊大学での FD に関わる先進的な取り組みとして QLA（公認学習補助員）があります。これは、他大学にもよくある TA、SA とは異なり、育成プログラムを修了した QLA 有資格の学生がアクティブラーニングを導入した授業のファシリテーター的役割を果たすものです。授業毎に QLA に対して実施する事前(後)学習もあり、授業の教育の質向上が第一の目的となっています。

また、FD に関わる会議体制を 2021 年度より改革いたしました。具体的には FD 協議会を廃止し、協議会での FD に関する議題も高度教育開発・支援センター運営会議にて議論することとしました。この運営会議は元より全学 FD 委員会との連携も強いいため、FD 活動に関わる PDCA サイクルがより潤滑に機能することを目指しました。

本報告書にありますように、成蹊大学における多彩な FD 活動が広く認知され、成蹊大学の教育の発展に寄与することを切に願っております。

目次

はじめに	全学 FD 委員会委員長 学長 北川 浩	2
2021 年度 FD 活動を振り返って	高等教育開発・支援センター所長 富谷 光良	3
1. 2021 年度 FD 活動概要		6
1-1 FD とは		7
1-2 本学における FD		7
1-3 FD 基本方針		8
1-4 FD 活動方針		9
1-5 本学における FD 活動体制		10
1-6 全学 FD 委員会		12
1-7 学部 FD 委員会		14
1-8 高等教育開発・支援センター運営会議		19
2. 2021 年度 FD 活動報告（学部・国際教育センター）		22
2-1 学部 FD 活動		23
2-2 経済学部・経営学部における FD 活動		23
2-3 理工学部における FD 活動		24
2-4 文学部における FD 活動		25
2-5 法学部における FD 活動		26
2-6 国際教育センターにおける FD 活動		27
3. 2021 年度 FD 活動報告（高等教育開発・支援センター）		33
3-1 高等教育開発・支援センター		34
3-2 FD セミナー		34
3-3 FD 研修会		37
3-4 授業研究会		40
3-5 新任教員研修		43
3-6 シラバスワークショップ		44
3-7 CALL 活用勉強会		44
3-8 授業支援ボックス		45
4. 教育活動表彰制度（成蹊ティーチングアワード）		46
4-1 成蹊大学教育活動表彰制度		47

5. 奨励金制度	48
5-1 奨励金制度	49
5-2 ブリリアントプロジェクト奨励金	49
5-3 プロジェクト型授業奨励金	51
5-4 教育改革・改善プロジェクト奨励金	52
6. 成蹊大学公認学習補助員（QLA）	53
6-1 成蹊大学公認学習補助員（QLA）	54
6-2 QLA を活用した授業支援	55
6-3 「QLA 育成プログラム」の実施	56
6-4 QLA プロジェクトチーム	58
6-5 QLA 活用説明会	60
7. 学外セミナー等への派遣記録	62
7-1 学外セミナーへの派遣	63
8. 六大学における合同 FD・SD 等の実施に関する包括協定	64
8-1 六大学における合同 FD・SD 等の実施に関する包括協定	65
9. 関連規則	66
9-1 FD 関連規則	67
10. 記録・資料	72
10-1 これまでの FD 活動の記録	73
10-2 2021 年度全学 FD 委員会委員一覧	130
10-3 2021 年度高等教育開発・支援センター所長・所員一覧	130

1. 2021 年度 FD 活動概要

1-1 FDとは

FDについて、文部科学省では、「知識イコール専門分野を素材に成り立つ学問の府としての大学制度の理念・目的・役割を実現するために必要な「教授団の資質改善」または「教授団の資質開発」を意味する。」としたうえで、「FDは一般には広義と狭義の解釈が成り立つ。広義には、広く研究、教育、社会的サービス、管理運営の各側面の機能の開発であり、それらを包括する組織体と教授職の両方の自己点検・評価を含む。狭義のFDは主に諸機能の中の教育に焦点を合わせる。…教育に関するFDは総論的には教育の規範構造、内容（専門教育と教養教育）、カリキュラム、技術などに関する教授団の資質の改善を意味する。」（中央教育審議会大学分科会第21回資料）と定義づけている。

1-2 本学におけるFD

成蹊学園創立者中村春二が目指した教育理念である「自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す真の人間教育」を踏まえ、教育目標（人材育成方針）を実現すべく、教職員が教育活動の内容・方法を改善し、向上させるため組織的に取り組む活動との認識の下、文部科学省が示す方針・指針に基づき、教員間での教育資質改善に関する活動をFDとして捉えたうえで、統括を行う全学FD委員会の下、高等教育開発・支援センターによる学部横断的FD（以下「全学FD」という。）、個々の学問分野に直結した学部・研究科主体による学部FD委員会主催のFD（以下「学部FD」という。）の2つのFDを軸とした運用を行っている。

1-3 FD 基本方針

本学では、FD 活動の基本となる「FD 基本方針」を次の通り定めている。

成蹊大学における F D 基本方針

2017 年 6 月 7 日制定
2021 年 4 月 1 日改正
全学 F D 委員会

1. 成蹊大学における F D の定義

本学における F D とは、成蹊学園創立者中村春二が目指した教育理念である「自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す真の人間教育」を踏まえ、教育目標（人材育成方針）を実現すべく、教職員が教育活動の内容・方法を改善し、向上させるため組織的に取り組む活動のことである。

2. F D の目標

本学では以下の人材育成方針を掲げており、これらの実現が F D の目標である。

1. 広い教養と深い（各学科、各専攻の）専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。
2. 自己の人生観・価値観を確立し、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。
3. 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。
4. 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。

3. F D 活動について

本学の F D 活動は、F D の目標達成に必要な「教育力の向上」「教育制度の改善」「教育環境の充実」について、全教職員が個人及び組織として、主体的且つ継続的・発展的に取り組む活動であり、また、この F D 活動を組織的に支援する活動も F D 活動である。

3.1. F D 活動の実行主体

本学の F D 活動は、教職員が大学・学部・学科・研究科・専攻・機関など所属する組織を実行主体として組織的に取り組むこととする。

3.2. F D 活動に対する支援体制

F D 活動に対する全学的な支援は、全学 F D 委員会において示された教育の資質向上のために必要な方策に基づき、高等教育開発・支援センターが行う。

本学では、前項にて示した「FD 基本方針」に基づき、具体的な重点施策を求める「成蹊大学 FD 活動方針」を定めており、2 年毎に教育環境の変化にあわせた改変を実施している。

2021～2022 年度 成蹊大学 FD 活動方針

2021 年 4 月 1 日

全学 FD 委員会

FD 基本方針に基づき、2021 年度および 2022 年度の大学全体の FD 活動方針を以下のように定める。

1. FD 活動の重点的施策

(1) 授業内容や授業方法の改善

- ・ 遠隔授業（オンライン型、オンデマンド型授業等）の活用のための研修
- ・ 授業研究会の促進
- ・ 学修補助員（QLA）活用の促進

(2) ICT を活用した授業の質向上

- ・ 既存の ICT 環境を活用した教育手法に関する研修
- ・ 予習、復習、基礎学習等の各フェーズにおける電子教材導入の検討
- ・ e ラーニングの活用促進

(3) アクティブラーニングによる少人数制授業（ゼミナール等）の拡充

- ・ 討論、スピーチ等のファシリテート能力向上のための研修
- ・ 反転授業の導入検討
- ・ 学習状況を把握するためのアンケート機能等の活用の促進

2. FD 活動における継続的な課題

(1) グループ学習の促進

- ・ グループ学習を活用した授業の円滑な運営のための研修
- ・ ゼミ等において活用する課題発見解決型のグループ学習用教材の設計検討
- ・ 校外実習などによるグループ学習機会拡大の検討

(2) 学習成果のフィードバック

- ・ ルーブリック策定に向けた理解を深めるための研修
- ・ 卒業論文、卒業研究、ゼミレポートなどの評価基準の明示の検討
- ・ 試験結果の通知等、学習成果のフィードバックの促進
- ・ アンケートツール等を活用した即時性の高い、学生へのフィードバックの促進

1-5 本学におけるFD活動体制

1-5-1 FD 活動体制

FD の実施に関する本学の体制については、図 1 に示す通りである。全体総括を行う全学 FD 委員会と、主管部署であり全学 FD を主催する高等教育開発・支援センターを中心に、それぞれが学部主体で実施する FD を所管する学部・研究科 FD 委員会と連携することにより、FD 活動体制を構築している。

なお、FD 活動の方針・体制構築にあたっては、学長室とも連携し「大学・センター懇談会」において懇談を適宜行っているほか、関連各部署との連携を行い、取り組みを進めている。

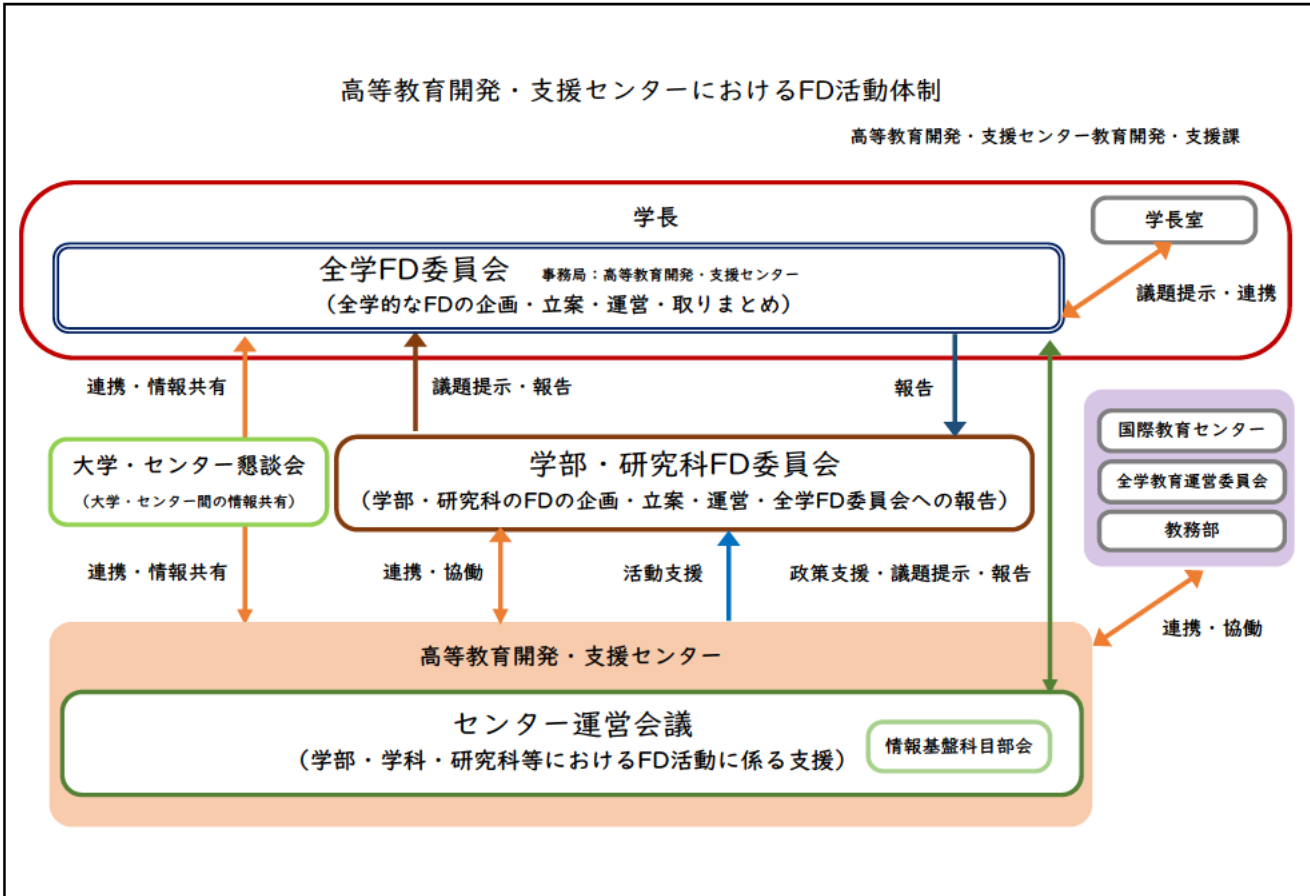


図1：高等教育開発・支援センターにおけるFD活動体制

1-5-2 FD 活動における PDCA サイクルの確立

FD の実施にあたっては、その性質上、実施した内容について年度単位での客観的評価・再検討が求められる。本学では、図 2 に示す通り、年度内完結の取組みであることを明示したうえで、それぞれの FD 活動の意味、会議体の持つ役割を明示することで、PDCA サイクルを意識した活動を推進している。

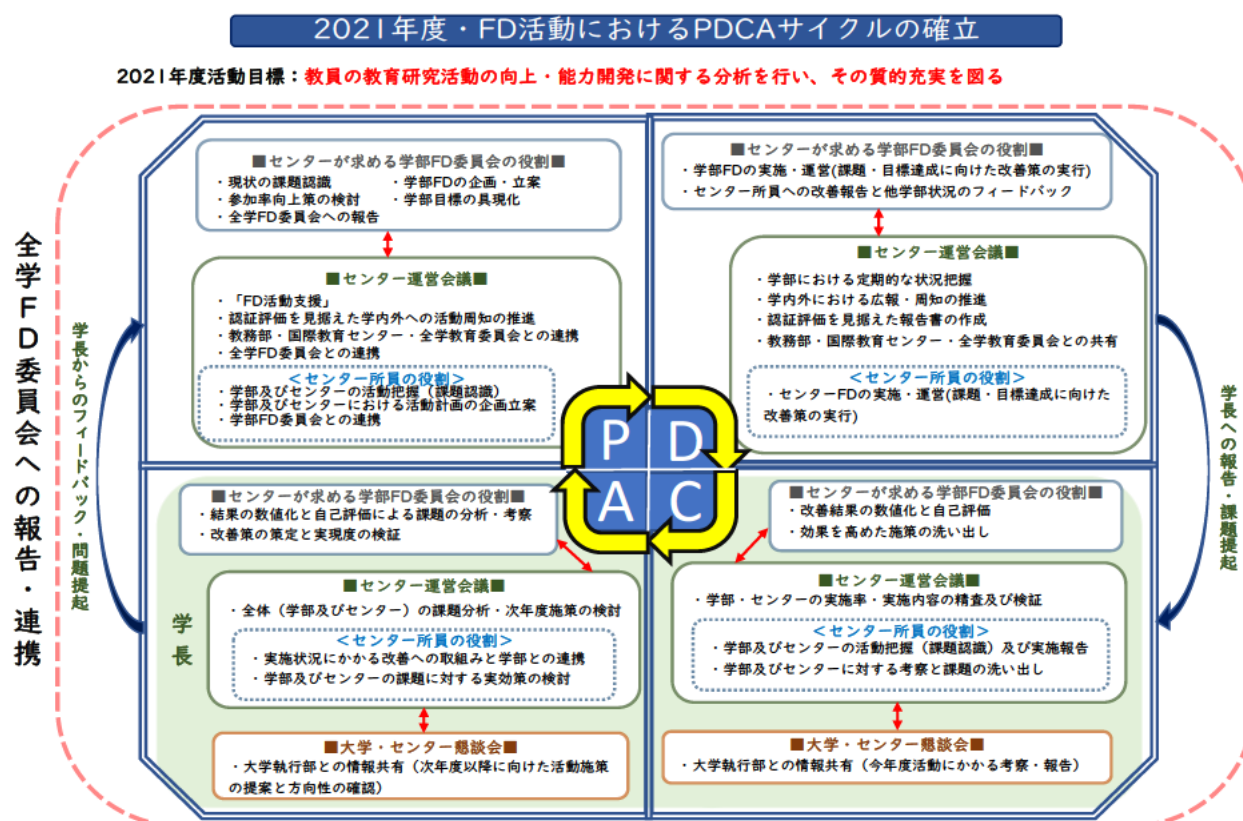


図 2：FD 活動における PDCA サイクルの確立

1-6 全学 FD 委員会

1-6-1 全学 FD 委員会概要

全学 FD 委員会は、学長・副学長・学部長を主な構成員とするメンバーで構成されている。昨年度まで学長室総合企画課を事務局として、大学運営会議と一体化した運営が行われてきたが、FD 部門の一元化の観点から、本年度より高等教育開発・支援センター教育開発・支援課に主管を移し、前項にて図示している体制により、FD 活動の強化を図っていく所存である。

1-6-2 全学 FD 委員会開催日程及び議案事項

2021 年度の全学 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 21 日)	協議 1	FD 基本方針・活動方針に基づく FD 活動の今後の体制について
	協議 2	「FD」の定義と FD 活動計画の策定時における留意事項について
	協議 3	成蹊大学教育活動表彰制度
	懇談 1	各学部における FD 活動状況の定期的な報告体制について
	懇談 2	センター主催による FD 企画の推進について
	懇談 3	QLA・新 SA の今後の授業活用の考え方について
	報告 1	2020 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」成果報告書について
	報告 2	2020 年度「プロジェクト型授業奨励金」成果報告書について
	報告 3	2020 年度「教育改革・かいプロジェクト奨励金」成果報告書について
第 2 回 (2021 年 5 月 19 日)	協議 1	2021 年度「FD セミナー」実施について
	協議 2	2021 年度「授業研究会」実施に関する授業選定について
	協議 3	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	協議 4	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	協議 5	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議 6	2021 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
	依頼 1	教員インタビュー（ディプロマポリシーを体現している学生について）実施について
第 3 回 (2021 年 6 月 30 日)	協議 1	2021 年度学部 FD の実施状況について
	協議 2	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告 1	2021 年度「授業研究会」の実施について（中間報告）
	報告 2	「ブリリアントプロジェクト奨励金」EV フォーマラプロジェクトにおける今後の活動報告について
第 4 回 (2021 年 7 月 21 日)	協議 1	次年度の認証評価を見据えた後期の FD 活動の強化に向けて
	報告 1	2021 年度 FD セミナーの実施について（経過報告）
	報告 2	コロナウイルス感染拡大の影響による「QLA 育成プログラム」修了要件の緩和について

開催年月日	区分	
第 5 回 (2021 年 9 月 8 日)	協議 1	後期の FD 活動の強化に向けて
	懇談 1	2022 年度シラバス作成要領の改訂について
	報告 1	令和 3 年度 FD 推進ワークショップへの派遣者について
第 6 回 (2021 年 10 月 6 日)	協議 1	「FD 活動報告書」発刊に向けた学部・研究科 FD の情報収集について
	協議 2	「学生調査（学修時間・学修行動・能力変化）・卒業生調査。採用担当者調査」報告について
	協議 3	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議 4	2022 年度シラバス作成要領案について
	依頼 1	FD セミナーの実施について
	報告 1	2022 年度「QLA 育成プログラム」の実施について
第 7 回 (2021 年 11 月 10 日)	協議 1	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	依頼 1	FD セミナーの実施について
	報告 1	FD 参加率について
	報告 2	QLA プロジェクトチームの始動について
	報告 3	授業研究会について
第 8 回 (2021 年 12 月 8 日)	依頼 1	「FD 活動報告書」の作成について
	依頼 2	「QLA 活用説明会」の開催および紹介動画の作成について
	依頼 3	「QLA 育成プログラム」修了式の実施について
	報告 1	第 2 回 QLA プロジェクトチームについて
	報告 2	FD セミナー「フィールドワーク型／プロジェクト型授業の実践記録 ESD 推進のために」の実施について
第 9 回 (2022 年 2 月 24 日)	協議 1	「FD 活動報告書」の進捗状況について
	協議 2	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領（案）について
	協議 3	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領（案）について
	協議 4	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領（案）について
	協議 5	FD ホームページ進捗状況について
	依頼 1	FD 活動報告書における、学部 FD 委員会議事情報の提供と内容公開について（
	報告 1	「Zoom 講習会」の開催について
	報告 2	「QLA 育成プログラム」の実施報告について
	報告 3	QLA 育成プログラムに関するアンケート集計結果について
第 10 回 (2022 年 3 月 9 日)	協議 1	「FD 活動報告書」について
	協議 2	「QLA プロジェクトチーム」報告と答申について
	依頼 1	成蹊ティーチングアワード一次候補者の選考について

1-7 学部 FD 委員会

1-7-1 学部 FD 委員会概要

本学では、FD 活動に関し、学部全体の視点から組織的に推進及び統括を図ることを目的として、学部長の下に学部 FD 委員会を設置し、主に以下の 4 点について審議・決定している。

- (1) 本学部における教育活動の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) FD 活動の点検・評価に関する事項
- (4) その他学部長が必要と認めた事項

1-7-2 経済学部・経営学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2021 年度の経済学部・経営学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。なお、2021 年度は、経済学部（新・旧）・経営学部合同で開催している。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 8 日)	報告 1	2020 年度後期 授業評価アンケート集計結果の分析について
	懇談 1	2020 年度 ティーチングアワードの選出について
	懇談 2	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2021 年 4 月 22 日)	審議 1	2020 年度 ティーチングアワードの候補者の選定について
第 3 回 (2021 年 5 月 13 日)	懇談 1	2021 年度授業研究会について
	その他 1	2021 年度の学部 FD 活動の方針について
第 4 回 (2021 年 6 月 3 日)	報告 1	授業評価アンケート（前期）の実施について
	その他 1	FD 研修会の開催について
第 5 回 (2021 年 6 月 24 日)	報告 1	FD 研修会の開催について
第 6 回 (2021 年 7 月 15 日)	報告 1	新・旧経済学部・経営学部合同 FD 研修会の報告について
第 7 回 (2021 年 9 月 16 日)	報告 1	2022 年度シラバス作成要領の改訂について
第 8 回 (2021 年 10 月 7 日)	報告 1	シラバス作成依頼について
	懇談 1	前期授業評価アンケート結果について
	懇談 2	第 6 回 全学 FD 委員会 ・「FD 活動報告書」発刊に向けた学部・研究科 F D の情報収集について ・「学生調査(学修時間・学修行動・能力変化)・卒業生調査・採用担当者調査」報告に基づく授業改善結果の提出について
第 9 回 (2021 年 10 月 28 日)	懇談 1	2022 年度シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	2022 年度 第三者チェックに関する依頼について

開催年月日	区分	議案事項
第 10 回 (2021 年 11 月 18 日)	審議 1	2022 年度シラバス第三者チェックについて
	審議 2	2022 年度 第三者チェックに関する依頼について
	報告 1	後期 授業評価アンケートの実施について
	懇談 1	2022 年度シラバスとりまとめについて
第 11 回 (2021 年 12 月 2 日)	審議 1	FD 委員会等の開催日時について
	報告 1	2022 年度 シラバスとりまとめについて
	報告 2	2022 年度 シラバス作成等の依頼について
	報告 3	2022 年度 第三者チェックに関する依頼について
第 12 回 (2021 年 12 月 16 日)	審議 1	2022 年度 シラバス第三者チェック承認者について
	審議 2	FD 活動報告書について
第 13 回 (2022 年 1 月 20 日)	報告 1	2022 年度 シラバス第三者チェック承認者について
	報告 2	2022 年度 シラバス第三者チェックマニュアル一式
第 14 回 (2022 年 2 月 5 日)	報告 1	2022 年度 シラバス入稿状況について
第 15 回 (2022 年 2 月 16 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について
第 16 回 (2022 年 3 月 3 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正について

1-7-3 理工学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2021 年度の理工学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 7 日)	議題 1	2020 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2021 年 6 月 9 日)	報告等 1	2020 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 2	2021 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 3	2020 年度入学年度別成績評価の割合に関する件
	報告等 4	2017 年度入学生 GPA 順位推移に関する件
	報告等 5	2021 年度 F D 活動に関する件
第 3 回 (2021 年 7 月 7 日)	報告等 1	2021 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
第 4 回 (2021 年 9 月 28 日)	報告等 1	2021 年度 F D 活動に関する件
	報告等 2	2020 年度及び 2021 年度 入学年度別 履修科目数と履修単位数に関する件
第 5 回 (2021 年 11 月 10 日)	報告等 1	2022 年度シラバス入力に関する件
	報告等 2	2022 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 3	2021 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 4	2021 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 5	「F D 活動報告書」発刊に向けた学部・研究科 F D の情報収集に関する件
	報告等 6	「学生調査(学修時間・学修行動・能力変化)・卒業生調査・採用担当者調査」報告に基づく授業改善結果の提出に関する件
	報告等 7	2021 年度前期成績における男女比較に関する件
	報告等 8	入学年度別 GPA 比較に関する件
	報告等 9	理工学部・理工学研究科 F D 委員会と高等教育開発・支援センターの連携に関する件
第 6 回 (2021 年 12 月 22 日)	報告等 1	2021 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 2	2021 年度前期 GPA 分布に関する件
	報告等 3	「F D 活動報告書」発刊に向けた学部・研究科 F D の情報収集に関する件
第 7 回 (2022 年 1 月 12 日)	報告等 1	2022 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 2	2021 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 8 回 (2022 年 2 月 24 日)	報告等 1	2021 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 2	2021 年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等 3	2021 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件

1-7-4 文学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2021 年度の文学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 9 日～15 日) ※メール持ち回り	議題 1	2020 年度ティーチングアワードの選考について
第 2 回 (2021 年 6 月 18 日～24 日) ※メール持ち回り	議題 1	2021 年度文学部 FD 研修会について
第 3 回 (2021 年 11 月 10 日～17 日) ※メール持ち回り	議題 1	学部長依頼に基づく授業改善について
第 4 回 (2022 年 1 月 20 日～27 日) ※メール持ち回り	議題 1	2022 年度シラバス第三者チェックについて
第 5 回 (2022 年 2 月 18 日)	議題 1	2022 年度シラバス第三者チェックについて

1-7-5 法学部 FD 委員会開催日程及び議案事項

2021 年度の法学部 FD 委員会の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 8 日)	検討 1	2021 年度前期の授業形態について
	検討 2	対面授業のオンライン実施希望について
	検討 3	EAGLE 客員教員の担当業務について
	検討 4	課題提示型授業の実施希望について
	検討 5	学部・研究科の運営について
第 2 回 (2021 年 4 月 22 日)	検討 1	会食を起因とした新型コロナウイルス陽性者発生事案への対応について
第 3 回 (2021 年 6 月 3 日)	検討 1	内部質保証自己点検・評価シートの作成について
	検討 2	科目ナンバリングにおけるレベルコードの確認について
	検討 3	FD 研修会の実施について ・学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査） ・卒業生アンケート（卒後 3・5・10 年）
第 4 回 (2021 年 6 月 15 日)	検討 1	内部質保証点検・評価シートの作成について
第 5 回 (2021 年 6 月 24 日)	検討 1	内部質保証自己点検・評価シートの作成について
第 6 回 (2021 年 9 月 16 日)	検討 1	後期における対面授業について
	検討 2	演習科目におけるオンライン参加について
第 7 回 (2021 年 10 月 7 日)	検討 1	基礎疾患を有する非常勤講師の 2022 年度における取り扱いについて
第 8 回 (2021 年 12 月 16 日)	検討 1	2022 年度前期の対面授業について
	検討 2	内部質保証について
	検討 3	成績評価の平準化について
	検討 4	学生と教員の連絡方法について
第 9 回 (2022 年 2 月 19 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて
第 10 回 (2022 年 3 月 3 日)	検討 1	内部質保証点検・評価シートの作成について
	検討 2	シラバス第三者チェックおよびシラバス修正の進捗について
	検討 3	成績評価ガイドラインについて

1-8 高等教育開発・支援センター運営会議

1-8-1 高等教育開発・支援センター運営会議概要

FD を所管する高等教育開発・支援センターにおいて、予算管理・ソフトウェアメンテナンスといった議決事項のほか、全学 FD の運営を司る会議体で、所長、各学部より任命された所員、教務部長、教務部課長、高等教育開発・支援センター部長※、教育開発・支援課課長にて構成されている。

2020 年度まで高等教育開発・支援センターでは、本会議とは別に FD を主とし、かつ構成員も異なる FD 協議会有り、FD 活動とそれ以外の内容とで、センター内での役割の棲み分けを図っていたが、全学 FD 委員会の主管部署の移管と共に運用を見直し、迅速な決議と運用、主体的な活動の促進を目的として、本会議に統合する形で同協議会は廃止とした。

今年度からは、本会議の議題内容、所員の役割について、FD 主体へと軸足を移すと共に、全学 FD 委員会と連携した議案提起を行っている。

※2021 年度は同職について教務部長が兼任

1-8-2 高等教育開発・支援センター運営会議開催日程及び議案事項（FD 関連内容のみ抜粋）

2021 年度の高等教育開発・支援センター運営会議の開催日程及び議案は以下の通りである。

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2021 年 4 月 15 日)	協議 1	成蹊大学教育活動表彰制度（ティーチングアワード）受賞者に対する依頼事項について
	懇談 1	各学部における FD 活動状況の定期的な把握について
	懇談 2	センター主催による FD 企画の推進について
	懇談 3	QLA・新 SA の今後の授業活用の考え方について
	懇談 4	授業研究会ガイドライン（2021 年度版）の制定と今後の運用体制について
	報告 1	2020 年度高等教育開発・支援センター活動報告
	報告 2	2021 年度大学新任教員研修の開催について
	報告 3	2020 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」報告について
	報告 4	2020 年度「プロジェクト型授業奨励金」報告について
	報告 5	2020 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」報告について
	報告 6	2021 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領について
	報告 7	2021 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領について
	報告 8	2021 年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」公募要領について
第 2 回 (2021 年 5 月 6 日)	依頼 1	2021 年度「FD セミナー」に関する推薦について
	依頼 2	2021 年度「授業研究会」実施に関する授業選定について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2021年6月17日)	懇談1	センター主催のFDセミナーの開催について
	依頼1	授業研究会の実施運営について
	報告1	授業研究会の開催予定について
	報告2	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	報告3	2021年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
	報告4	2021年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告5	2021年度「教育改革・改善プロジェクト奨励金」申請について
	報告6	教員インタビュー（ディプロマポリシーを体現している学生について）実施について
	報告7	学部のFD活動状況について
第4回 (2021年7月8日)	懇談1	センター主催のFDセミナーの開催について
	報告1	2021年度「授業研究会」の実施について
	報告2	2021年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	報告3	2021年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」申請について
第5回 (2021年9月1日)	懇談1	センター主催FDセミナーの開催に向けて
	懇談2	FD研修会「ICTを活用した授業手法のご紹介」の開催に向けて
	報告1	次年度の認証評価を見据えた後期のFD活動の強化に向けて
第6回 (2021年10月20日)	懇談1	センター主催FDセミナーの開催に向けて
	懇談2	FD研修会「ICTを活用した授業手法のご紹介」の開催に向けて
	依頼1	授業研究会（法学部）の開催について
	報告1	QLA育成プログラムの参加人数と実施形式について
	報告2	令和3年度私立大学改革総合支援授業の質に係る客観的指標調査票について
	報告3	「FD活動報告書」発刊に向けた学部・研究科Dの情報収集について
	報告4	「学生調査（学修時間・学修行動・能力変化）・卒業生調査・採用」報告に基づく授業改善結果の提出について
	報告5	2021年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
第7回 (2021年11月15日)	協議1	2021年度「プロジェクト型授業奨励金」申請について
	協議2	シラバスに関するFDについて
	懇談1	センター主催FDセミナーの開催に向けて
	依頼1	FD活動報告書の原稿作成について
	依頼2	授業研究会について
	報告1	FD参加率について
	報告2	QLAプロジェクトチームの始動について

開催年月日	区分	議案事項
第 8 回 (2022 年 2 月 15 日)	協議 1	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領（案）について
	協議 2	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領（案）について
	協議 3	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領（案）について
	依頼 1	「FD 活動報告書」の執筆状況について
	報告 1	「Zoom 活用セミナー」の実施について
	報告 2	FD ホームページの進捗状況について
	報告 3	FD セミナー『フィールドワーク型／プロジェクト型授業の実践記録：ESD 推進のために』開催報告
	報告 4	FD 研修会『ICT を活用した授業』のご紹介について
	報告 5	第 3 回、第 4 回 QLA プロジェクト開催報告（資料⑥）
	報告 6	「QLA 活用説明会」開催報告（資料⑦）
	報告 7	2021 年度「QLA 育成プログラム」実施報告（資料⑧）
第 9 回 (2022 年 2 月 25 日～ 3 月 8 日) ※持ち回り	依頼 1	次期高等教育開発・支援センター所員について
	依頼 1	次期高等教育開発・支援センター所員について
	報告 1	2022 年度「プロジェクト型授業奨励金」公募要領（案）
	報告 2	2022 年度「教育改革・改善プロジェクト」公募要領（案）
	報告 3	2022 年度「ブリリアントプロジェクト奨励金」公募要領（案）
	報告 4	大学教室の視聴覚設備改修に向けたプロジェクトの発足について
	報告 5	2021 年度第 8 回情報基盤科目部会の実施報告について

2. 2021 年度 FD 活動報告 (学部・国際教育センター)

2-1 学部 FD 活動

本委員会は、FD 活動に関し、学部全体の視点から組織的に推進及び統括を図ることを目的として、学部長の下に設置されており、主に次に掲げる事項を審議する。

- (1) 本学部における教育活動の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
- (3) FD 活動の点検・評価に関する事項

2-2 経済学部・経営学部における FD 活動

テーマ	新・旧経済学部・経営学部合同FD研修会 「オンデマンド授業についての意見交換会」
目的・達成目標	前年度同様、2021 年度前期も講義科目を中心としてオンライン授業が実施されている中、他大学ではオンデマンド型授業も実施されている。両者の違いや学生の反応などを紹介し、意見交換を行うこととした。
担当教員名	鈴木 史馬（経済学部）
実施日時・会場 開催形式	2021 年 6 月 24 日 15 時 00 分～15 時 20 分 オンライン（Zoom）による開催
出席人数（内訳）	47 名（学内 47 名）
プログラムと構成	1. オンデマンド授業の定義 2. オンデマンド授業の方法 3. アンケートを通じた学生の意見紹介 4. まとめ
講評	リアルタイムにおける意見交換で、下記の意見が出た。 ・動画配信は実施しているが、どの程度の対応をすれば「オンデマンド型」となるのか、厳密に捉えることが難しい。 ・2019 年度、オンデマンド型授業を全学的に把握する委員会において、全 14 回授業のうちの一定回数以上をオンデマンド型で行う場合、シラバスに記載したり、オンデマンド型授業として登録する等が議論された。全学的な動向との整合性も必要かと思われる。 ・研修後のフィードバック：FD 研修後、参加者 47 名からフィードバックを得た（研修成果についての聴取項目） 1. オンデマンド型授業の定義理解 : 100% 2. オンデマンド授業の 3 要件の理解 : 100% 3. オンデマンド授業の 2 形態の理解 : 100% 4. 紹介された学生意見が参考になった : 91.67%

2-3 理工学部における FD 活動

テーマ	「新型コロナウイルス感染症の「今」」
目的・達成目標	次の点を達成目標として、研修会を開催した。 ・ COVID-19 の感染が収束を見せない状況下において対面での実験、実習の多い理工学部において改めて COVID-19 に対する対応の周知、確認を行う研修であること。
担当教員名	法性 玲子（大学保健室 保健師）
実施日時・会場 開催形式	2021 年 10 月 27 日 16 時 オンライン（Zoom）による開催
出席人数（内訳）	62 名（学内 62 名）
プログラムと構成	1. 開会挨拶・講師紹介 2. 講演「新型コロナウイルス感染症の「今」」（20 分） 3. 質疑応答（5 分） 4. 研修内容に関するアンケート調査（10 分）
講評	総評 講演内容を含めて事前に周知し、参加を募ったこともあり、多数の教員が参加し講演を聞いてもらうことができた。テーマに関しては教務委員会の FD 担当の先生が後期から対面授業が始まったことをうけ、改めて COVID-19 に対する感染対策の徹底を図るために COVID-19 の現在の状況を教えていただくことが適当であると発案され決定した。 事前準備 学部内で COVID-19 に詳しい教員がいないため健康保険センターと相談し、保健師の法性先生にお願いして講演をしていただけることになり、資料の作成なども引き受けていただいた。講演の内容を理解したことを確認するためにアンケートを行うこととし、アンケートは講演資料を参考に理工学部の FD 担当教員が作成した。 当日運営 講演、質疑応答、アンケート調査はスムーズに進行することができた。アンケート調査もほとんどの参加者が回答してくれて、タイムリーな内容であると評価してもらえた。なかなか COVID-19 が治まらないなかで授業を進めていくために良い研修になったのではないかとと思われる。

2-4 文学部における FD 活動

テーマ	「学生調査（学修時間・学修行動・能力変化）・卒業生調査・採用担当者調査」報告をもとに文学部授業改善について考える
目的・達成目標	「学生調査（学修時間・学修行動・能力変化）・卒業生調査・採用担当者調査」報告をもとに文学部授業改善について考えることを目的とし、実際に授業改善に役立てることを目標とする。
担当教員名	宮坂 剛（学長室総合企画課）
実施日時・会場 開催形式	2021 年 11 月 10 日 16 時から オンライン形式
出席人数（内訳）	FD 委員を含む文学部教員 11 名
プログラムと構成	1. 全学 FD 委員会から改善案検討の依頼があった「コロナ禍における学習環境・学修行動の変化」に係る指標の説明 (1) コロナ禍の学生調査、ネガティブ項目・ポジティブ項目について (2) コロナ禍の学生が「(大学生活で)うまくいかなかった」「(大学教育に)不満だ」と思っていること (3) コロナ禍が学修成果に及ぼす影響(DP1・卒業後・就職活動)の予測 (4) コロナ禍による学生状況、他大学との比較 2. ディプロマポリシー学生認識について (5) 自発性・積極性 2 の到達実感(学生認識)が他の項目に比べて低い 3. 進路結果と入学手段、GPA と入学手段、アセスメントテスト結果と入学手段 (6) 成績と進路結果が良い指定校入学者だが、アセスメントテスト結果は低調
講評	宮坂氏による、昨年度 1 年生のアンケート結果の分析によれば、新型コロナウイルス感染症流行後において、 ・フィールドワークなどの機会が減った ・定期的に小テストやレポートが増えた ・提出物に対して教員が添削・コメントをつけて返却することが増えた ・学生同士の議論が増えた ・予習・復習の時間が増えた ・教員と顔見知りになる機会が減った ・学生間同士の交流が極めて減った という特徴がある。 ここから、ある程度の滞りはあったものの、我々はしっかりと学生の教育を継続できたとポジティブにとらえることが可能である。また、他大学との比較を考えても、成蹊大学文学部はコロナの影響を最小限に抑えることができた。 一方、卒業生・企業からは、コミュニケーション能力の必要性が求められていることが判明した。その点を踏まえ、授業改善を行っていくべきである。その際には、社会で求められている「コミュニケーション」とは何か、などを教えていく必要性もあろう。 ただし、広義の「コミュニケーション」といえる文章力について、文学部学生の能力には目を見張るものがある。その点を誇れるように、学生を含めて周知していきたい。

2-5 法学部における FD 活動

テーマ	「2019 年度 学生の学修成果の把握に関するアンケート」及び「卒業生調査 (3・5・10 年後アンケート)」
目的・達成目標	「2019 年度 学生の学修成果の把握に関するアンケート」及び「卒業生調査 (3・5・10 年後アンケート)」を基にオンライン授業のメリット・デメリット及び新型コロナウイルスの収束後のオンライン授業のあり方を検討する。
担当教員名	湯原 心一 (法学部)
実施日時・会場 開催形式	オンライン (Zoom) による開催
出席人数 (内訳)	33 名 (学内 33 名)
プログラムと構成	「2019 年度 学生の学修成果の把握に関するアンケート」及び「卒業生調査 (3・5・10 年後アンケート)」の内容について湯原から説明をした。その上で、出席メンバーにて議論がなされた。次のような意見がなされた。 ・昨年度は、オンライン授業が中心であったが、オンライン授業に言及する回答は、それほど多くなかった。オンライン授業に関する意見は、オンライン授業のメリット・デメリットの両方に言及しており、新型コロナウイルスの収束後のオンライン授業のあり方を今度も検討する必要がある。 ・学修意欲が高い学生と学習意欲の低い学生の両方混在しているのが現実である。両者を満足させることが難しいが、学習意欲の高い学生を満足させる方法を書く教員がそれぞれの講義・演習において考える余地があるのではないかと。
講評	新型コロナウイルスについて関心が高く、次のような様々な有用な意見がなされた。新型コロナウイルス及びコロナ後の教育のあり方について検討を継続する必要がある。 ・アンケートの自由記述欄によって、学生の生の声が聞けてよかったです。学生が、対面でインタラクティブな授業を求めていることがわかり、現在のオンラインの授業でも、コミュニケーションをさらによく取る方法を工夫すべきだと感じました。 ・現在 (2021 年 6 月)、緊急事態宣言が発出中でありオンライン授業が原則採用されているが、演習に参加している学生からの要望があり対面授業やハイブリッド (対面&オンライン併用) 授業も行っている。先日、演習に参加している 1 年生学生から「対面授業があるおかげで、友人ができてありがたい」との感想を得た。コロナウイルス対策を十分に踏まえたうえではあるが、(特に演習では) 対面授業の実施は学生の交友関係の発展のために重要だと改めて感じた。 ・学習意欲が高い学生の足を、学習意欲の低い学生が引っ張ろうとすることがある。このような状況を改善する方法を模索していきたい。

2-6 国際教育センターにおける FD 活動

テーマ	Assessing and Practicing Speaking Skills
目的・達成目標	In this workshop, four presenters will give brief introductions to various ways to assess and improve speaking skills. This will be followed by an extended discussion of the topic, in which all participants will share their ideas and practices.
担当教員名	【Associate Lecturer (Jokin-teacher)】 Andrew James Whitmyre Caroline Handley Christopher Louis Modell Hiroaki Umehara James William Bates Mari Kuromatsu Michael Green Quenby Hoffman Aoki Susan Louise Brennan Thomas Andrew Paterson 【Faculty of Business Administration】 Peter D Evan
実施日時・会場 開催形式	Date: Tuesday, July 13, 2021 Time: 1:20 pm - 2:20 pm Venue: Zoom
出席人数（内訳）	11 members
プログラムと構成	1. Four presenters will give brief introductions to various ways to assess and improve speaking skills. • Sue Brennan will talk about how she uses Flipgrid for assessment within an IELTS Preparation course. • Mari Kuromatsu will explain how Flipgrid can be used as a homework tool and share students' opinions about this use. • James Bates will tell us how he approached the Show & Tell presentation task, including student requirements and assessment. • Caroline Handley will talk about conducting presentations within class time, instead of students preparing them as homework. 2. All participants will share their ideas and practices.

講評	This FD session focused on speaking skills and in particular presentation skills. Sue Brennan and Mari Kuromatsu introduced Flipgrid, an online teaching tool, and explained how they used it in their classes. The other teachers either had not used Flipgrid or had used it in different ways, so this was very useful information and prompted many questions. We found this can be a useful tool for promoting discussion between students as well as assessing their speaking skills, which can also reduce student anxiety and increase their motivation. The presenters also discussed how it was particularly appropriate for online teaching and how they would continue to use it in face-to-face teaching. As the College English Listening & Speaking course includes a show & tell presentation as a compulsory assessment task, it was very interesting for everyone to hear James Bates' presentation and then to talk about how they approached this task. He included a more academic section in the task, in which students moved beyond describing their chosen object and explaining why they chose it, to talk about it more generally, as a cultural object. Afterwards we discussed our different interpretations of this task, such as restricting the choice to an object of sentimental value. Finally Caroline Handley talked about preparing students to be able to write, practice, and record a presentation within one class period, as an assessment task. By working in small groups and basing the task on work completed in previous lessons, students were able to complete the task well, using the language and presentation skills they had learned. We discussed the use of translation software by students to write presentations and reports and how this could be one method to prevent such dependence.
----	--

テーマ	オンラインの授業における学生との交流活動の在り方について
目的・達成目標	オンライン授業で留学生が authentic な日本語を話す機会を増やすための活動について日本語教員の視座から議論し、留学生が生の日本語に触れられるよう日本人学生との交流を図る具体的な活動案を提示する。
担当教員名	日本語教育担当 川上 麻理（国際教育センター） 山下 順子（国際教育センター）
実施日時・会場 開催形式	日時：2021 年 7 月 16 日 11：00～12：00 会場：成蹊大学 1 号館 2 階日本語講師室 開催形式：対面形式
出席人数（内訳）	2 名
プログラムと構成	テーマについてメンバーで議論を行う。
講評	本研修では、昨年度から続くオンライン授業で留学生が authentic な日本語を話す機会を増やすための活動について話し合った。今学期も日本への留学が叶わず自国でプログラムを修了した学生が多く、日本人と触れ合う機会が著しく限られていたと考える。その中でも留学生が生の日本語に触れられるよう日本人学生との交流を図る活動が求められる。 まず、これまでも学生から高評価であった学生ボランティアを継続して実施し、日本語授業への参加・交流を通じて日本語を使う機会を確保することとした。ただし、本制度の運営・実施には成蹊生の協力が必要である。今後は、学生の予定（e. g. 特に学期末・試験期間の忙しさ）を加味した上で参加するよう呼びかけを加えることなど、募集の仕方を見直した。また、本制度を継続して運営するためにも、引き続き国際課の協力が必要であることを再確認した。 また、本学に日本語教員養成コースが新設されたこともあり、日本語教員を志望する学生が日本語授業に参加する可能性が考えられる（現在担当教員と調整中）。日本語授業には見学者という立場で参加するものの、活動中の支援/足場かけなどを通して日本語でやりとりを行うことは、留学生にとっても日本語に触れる機会になると期待できる。ただし、前述の学生ボランティアとは異なる立場での参加が予測されるため、どのように差別化をはかるか、また担当講師にどのような周知をすべきかを事前に定めておかなければならない。この点については、日本語教員養成コースの担当教員と話し合って詳細を決めることとした。

テーマ	Transitioning back to f2f classes
目的・達成目標	In this reflective workshop, all participants will for 4-5 minutes about their experiences of moving back to f2f teaching after 1.5 years on Zoom. Topics may include, but are not limited to, challenges and rewards of switching back to f2f teaching; online practices we have taken back into the classroom; new uses of technology in f2f classes (Google, Teams, CoursePower, etc.); teaching hybrid classes; changes to f2f teaching now and pre-pandemic. These short talks will be followed by general discussions of the themes raised, and all participants will share their ideas and practices.
担当教員名	【Associate Lecturer (Jokin-teacher)】 Andrew James Whitmyre Caroline Handley Christopher Louis Modell Hiroaki Umehara James William Bates Mari Kuromatsu Michael Green Quenby Hoffman Aoki Susan Louise Brennan Thomas Andrew Paterson 【Faculty of Business Administration】 Peter D Evan
実施日時・会場 開催形式	Date: Tuesday, January 18, 2022 Time: 1:15 pm - 2:15 pm Venue: Zoom
出席人数（内訳）	11 members
プログラムと構成	1. All participants will for 4-5 minutes about their experiences of moving back to f2f teaching after 1.5 years on Zoom. 2. These short talks will be followed by general discussions of the themes raised, and all participants will share their ideas and practices.

講評	This FD meeting was used as a space to reflect on our teaching after experiencing the sudden shift to online teaching and how it had influenced our beliefs and practices. Everyone talked about one aspect of their experience, then we discussed these ideas. Many people talked about technology, such as Seikei University' s LMS, CoursePower; Google Sites and Classroom; and grading management tools. Although no one had used the LMS before the shift to online teaching, many teachers had continued to use it in the fall semester and were planning to do so in the next academic year. We discussed the various ways it could be used for homework tasks. Other teachers talked about how they had taught hybrid classes and the challenges they had faced. We discussed different ways to conduct pair and group work in hybrid classes and techniques to overcome the problem of playing audio tracks and videos so that students could hear them clearly on Zoom and in the classroom. Finally, we discussed the advantages and disadvantages of online teaching. Although all teachers agreed that they preferred interacting with students in the classroom, some teachers suggested that some courses could be delivered equally effectively online. In particular, teachers of repeater classes reported that student attendance was much higher online than on campus. We discussed the potential benefits of online learning for students with low motivation or debilitating anxiety regarding learning English.
----	--

テーマ	オンラインの授業を踏まえた中級レベルコースの指導法について
目的・達成目標	本学にて開講されている日本語コースのうちレベル3（中級前半レベル）に焦点を当て、当該コースでの指導法について議論し、学生の発話を促す学習方法を提示する。
担当教員名	日本語教育担当 川上 麻理（国際教育センター） 山下 順子（国際教育センター）
実施日時・会場 開催形式	日時：2022 年 1 月 19 日 11：00～12：00 会場：成蹊大学 1 号館 2 階日本語講師室 開催形式：対面形式
出席人数（内訳）	2 名
プログラムと構成	テーマについてメンバーで議論を行う。
講評	本研修では、本学にて開講されている日本語コースのうちレベル3（中級前半レベル）に焦点を当て、当該コースでの指導法について話し合いを行った。 まず、2020 年度前期からオンライン授業が続くなかで、どのように学生の発話を促せるかという課題に対して議論を掘り下げた。例えば日本語総合のクラスでは、教科書の学習項目を導入・練習させた後に当該項目をターゲットとするロールプレイを行う、学習項目を取り入れた会話例を学生に作らせる、ボランティア学生との交流機会を設けて、その中で項目を使えるように工夫する、といった案が挙げられた。このような活動には、単に学生の発話機会を増やすだけではなく、学んだ表現を実際に使うことで中級レベルに相応しい表現も（アウトプットを通して）身に付けることができるという指導の観点も含まれている。 次に、漢字の指導法についても話し合った。日本語のレベルが上がっていくにつれて学習する漢字の数も増えていくが、漢字学習では漢字の読み・意味・形を覚えるのみならず、書く練習も必要である。日本語総合のクラスでは、文字、語彙、学習項目、読解、聴解など多様な側面の日本語を扱うため、漢字指導のみに多くの時間を割くことは難しい。これについては、総合日本語では漢字の意味や読みを中心に指導し、漢字・語彙クラスでは漢字を書いて身につける時間を取るなど、レベル3で開講している他クラスとの連携を通して漢字学習の時間を確保する必要性があることを再確認した。

3. 2021 年度 FD 活動報告 (高等教育開発・支援センター)

3-1 高等教育開発・支援センター

高等教育開発・支援センターは、大学の理念、教育改革方針に沿って教育の質的転換の流れを生み出し、時代に即した優れた人間力を持つ人材を輩出するための高度な教育方法を ICT 活用の面から支援するために、旧情報センターを改組して設置されました。

当センターは「大学の教育改革方針に沿って、各部署と連携しつつ、学部・研究科を支援し、教育の質的転換の流れを生み出すこと」をコンセプトに、「組織的な教育力の向上の支援」を任務として、学部・研究科等の FD 活動全般にわたる支援業務を扱い、授業方法の改善に不可欠な ICT 活用に係る教育（e-learning を含む）も重要な業務として位置付けるとともに、情報システム等の管理・運営等も所管する組織として設置している。

FD 業務では、大学教員にて構成されるセンター所長・所員を中心に、学部横断的な全学視点での FD 活動を企画・運営しているほか、QLA を通じた人的な面からの授業支援にも取り組んでいる。

3-2 FD セミナー

3-2-1 FD セミナー概要

高等教育開発・支援センターでは、概ね年に 1 回のペースで FD セミナーを開催している。基本的には学外公開を前提とした広範なテーマを選定し、主催しているが、本年度はコロナ禍であるため学内公開に限定し、開催した。

3-2-2 2021 年度開催実績

2021 年度においては、以下の通り開催した。

テーマ	『フィールドワーク型／プロジェクト型授業』実践記録
目的・達成目標	小田学部長が行ってきたフィールドワーク型／プロジェクト型授業の経験を共有し、これらの授業が「持続可能な開発のための教育(ESD)」としてどのような意義を有するのかを検討する。
担当教員名	経済学部 小田 宏信（経済学部長）
実施日時・会場 開催形式	オンライン（Zoom）による開催 【日時】2021 年 11 月 26 日（金）3 限（13 時 10 分から 14 時 50 分） 【実施形式】Zoom によるオンラインで開催 【講師】経済学部 小田 宏信 教授 【対象者】大学教職員
出席人数（内訳）	19 人（学内 19 人）

プログラムと構成	小田学部長より、本学におけるフィールドワーク型／プロジェクト型授業の経験について報告し、これらの授業の経験において得た知見を共有した。これは、①フィールドワーク、②PBL (project-based learning) 及び③持続可能な開発のための教育 (education for sustainable development, ESD) という 3 要素を含む教育である。より具体的には、次のようなフィールドワーク型／プロジェクト型授業の経験が語られた。 ・大田区の中小企業の産業集積や構造の分析 (1993 年) ・①フィールドワーク、②PBL (project-based learning) 及び③持続可能な開発のための教育 (education for sustainable development, ESD) の概要の解説 ・東海巡検 (2006 年) ・桐生巡検 (2007 年) ・蒲田巡検 (2007 年) ・丸の内・大崎巡検 (2010 年) ・墨田・江東巡検 (2012 年) ・新大久保・池袋北口巡検 (2016 年) ・ものづくりのまちづくりイベントへの参画 (2015 年から 2016 年度) ・大田区 Open Factory への参画 (2015 年から 2016 年度) ・なかみちプロジェクト (2017 年) ・アトレプロジェクト (アトレ吉祥寺店・ネクストローカルとの協定に基づく) (2018 年から 2019 年度) → 吉祥寺土地利用研究 ・しまねプロジェクト (島根県立大学との協定に基づく) (2018 年から 2019 年度) → 津和野町・柿木村合宿
講評	小田学部長の授業はユニークであり、学生の主体性を重視しているもので今後の授業のあり方を考える上で参考になる。参加者からも多くのコメント・質問が寄せられた。例えば次のようなものである。 ・学生の中でノウハウを残すことが重要であるが、どのように知識を継承しているのか。3・4 年合同や 2・3・4 年合同でゼミができれば知識が継承され、発展するのではないか。 ・様々な場所での発表の機会があるようだが、成果物を出版する機会はあるのか。せっかくの経験なので、何らかの形で成果物を残したほうがよいのではないか。 →ゼミレポートを提出させている。ゼミ論集を出版することはあるが、機会は少ない。 ・調査の時間の確保・スケジュールが難しいのだが、どのように対応しているか。 →吉祥寺で実地調査をする場合には現地解散にするなどで対応した。土日に調査を行ったことも多かった。 教員の中で、フィールドワークやプロジェクト型授業に対する関心が高いことが伺われた。実行に移すためにノウハウの蓄積や共有ができると良いだろう。また、今回の FD 活動は、この目的のために有益であった。

フィールドワーク型／プロジェクト型 授業の実践記録：ESD 推進のために

成蹊大学 経済学部
小田宏信 教授



成蹊学園では2018年度にサステナビリティ教育研究センターが開設され、「持続可能な開発のための教育（ESD）」が学園ぐるみで推進されています。ESDの大きな役割は、グローバルな視野を持ちながらも、地球的課題と我々の身近な暮らしとを結びつけて、持続可能な将来のための価値観や行動を生み出していくということです。こうした意味では、学外でのフィールドワーク等を通じたプロジェクト型授業も、ESDの有力なアプローチと考えられます。



このセミナーでは、『フィールドワーク型／プロジェクト型授業』実践記録及び新しい経済学部の現代経済学科での取り組みの一端についてご紹介いたします。

ご参加の皆さまとともに、より良い授業運営について考える機会としたいと考えております。

日にち 2021 年 11 月 26 日（金）
時 間 3 限（13 時 10 分から 14 時 50 分）
会 場 オンライン（Zoom）
お申込 QR コードもしくはセンターHP よりお申込みください。



是非、ご参加ください。

3-3 FD 研修会

3-3-1 FD 研修会概要

高等教育開発・支援センターでは、概ね年に1回のペースでFDセミナーを開催している。

3-3-2 2021 年度開催実績

2021 年度においては、以下の通り開催した。

テーマ	2021 年度 FD 研修会 「ICT を活用した授業手法のご紹介」
目的・達成目標	新型コロナウイルス感染症拡大による遠隔授業の拡大により、遠隔授業に適した授業形態や機器設備の利用が求められる一方、効果的な遠隔授業運営に必要な実践手段を全体共有する場が存在せず、教員個々が試行錯誤しながら授業改善への取り組みを重ねているという現状が続いている。 今回、高等教育開発・支援センターでは、FD 活動支援の一環として遠隔授業用設備として導入した、高感度マイク・カメラ・スイッチャーについて、貸出運用に先駆ける形にて、授業での活用方法を検証する動画を作成し、オンデマンド形式によって配信することとした。これにより、特に授業の収録や、反転授業用コンテンツの作成など様々な場面での活用拡大を期待するものである。
担当教員名	吉見 憲二（経営学部准教授）
実施日時・会場 開催形式	【日時】2022 年 1 月 20 日～2022 年 3 月 31 日 【実施形式】オンデマンド形式により開催 【対象者】大学教職員
出席人数（内訳）	専任教員：18 名（うち FD としてカウント 8 名） 非常勤講師：18 名 専任職員：1 名 計 37 名
プログラムと構成	次の各機器の紹介、連携案、活用事例 ・高感度マイク（MV88+VIDEO KIT） ・Go Pro HERO7（小型軽量アクションカメラ） ・ATEM Mini Pro（画面・音声切替えスイッチャー）

講評	本研修会では、事例紹介にとどまらず、出席者に対して、授業に反映させるための実践での活用を想定したものとしたため、オンデマンド形式によるオンラインでの開催を行った。 講師の吉見准教授は、機材や活用方法に対し、具体的な事例を交えながらわかりやすく説明がまとめられており、新たな機器利用に対して苦手意識を持つ教員についても、抵抗なく聞きやすい構成であった。 参加者からのアンケート結果からも、見直しが利き、参考になったとの高評価を得ることができ、概ね企画の意図通りの実施となったと認識している。 一方、映像での伝達には限界もあり、機材を実際に操作する講習の必要性や、対面形式での研修を希望する声があったことも事実であり、コロナ禍における体制と、内容伝達の二つの観点から、操作機器の研修分野において、今後の課題となったと考えている。
----	--

2021 FD研修会

「ICTを活用した 授業手法のご紹介」

講師：吉見 憲二 先生（経営学部准教授）



～ オンデマンド配信 ～

配信期間：2022年1月20日（木）～3月31日（木）

申し込み：<https://www.seikei.ac.jp/university/sched/oshirase.html#403>

★スマートフォンを用いた動画撮影

★動きのある、撮影者目線の中継録画

★学生のプレゼンテーションの録画

★オンライン講義での複数画面の切り替え

など、ICTを活用した授業や教材作成手法について、
実際の操作を交えてご紹介いただきます。

【使用する機器】

MV88+VIDEO KIT
(高感度マイク)



Go Pro HERO7
(小型軽量アクションカメラ)



ATEM Mini Pro
(画面音声切替え
スイッチャー)



※上記機器は、教育開発・支援課で貸出ししています。

問合せ先：教育開発・支援課（内線3611） 宮本・小松・樋口・横山

3-4 授業研究会

3-4-1 授業研究会概要



※写真は 2019 年度開催時

高等教育開発・支援センターでは、各学部所員を主体とした授業研究会（授業参観）を概ね年 1 回、計 4 回程度実施している。実施にあたっては「授業研究会ガイドライン」に則り、学部間における質の担保を図っている。

同研究会は、授業参観と研究会の 2 部構成となっており、授業担当者及び参観者両者への教育の質的改善の観点から、両方への出席を原則としている。なお、各学部が授業を公開する形式であるが、参観者については非常勤講師を含む大学全教員を対象とし、異なる学部の授業参観も可能としている。

授業研究会の授業選定にあたっては、これまで学部内での推薦に基づき行っていたが、本年度からは後述する「成蹊ティーチングアワード」受賞者との連携など、より効果を高める選定プロセスと基準の明確化を図り、改善を行った。

3-4-2 2021 年度開催実績

本年度における開催実績は、以下の通りである。なお、出席者数にセンター関連教職員は含まない。

(1) 経済学部・経営学部（共催）

科目名称	財務会計
担当教員名	高橋 史郎（経済学部教授）
授業日時	2021 年 6 月 28 日（月）4 時限目（15:00～16:40）
研究会日時	2021 年 6 月 28 日（月）16:50～17:50
場所	オンライン（Zoom）による開催
出席者数	4 名（専任教員 4 名・非常勤講師 0 名）
所員考察	参加者が 4 名と多くはなかったが、授業を観察したいというモチベーションの高い方々が集まったので、有意義な議論ができた。この点、強制や強要ではなく、主体的に参加したい人が参加することが望ましいと思われる。 参加者は、自身が「授業観察シート」を記入するとは思っておらず、授業後に独りで記入することも難しかったため、今回は参加者全員の意見をファシリテーターがまとめた。ただ、参加者に求めることが多すぎても、負担と感じて参加を控えてしまうため、ファシリテーター1 人がまとめる方法の方が望ましいと思う。

(2) 理工学部

科目名称	関数型プログラミング
担当教員名	千代 英一郎（理工学部准教授）
授業日時	2021 年 6 月 22 日（火）4 時限目（15:00～16:40）
研究会日時	2021 年 6 月 22 日（火）16:50～17:50
場所	オンライン（Zoom）による開催
出席者数	2 名（専任教員 1 名・非常勤講師 1 名）

(3) 文学部

科目名称	英語音声学 311
担当教員名	平山 真奈美（文学部准教授）
授業日時	2021 年 6 月 24 日（木）1 時限目（8:50～10:30）
研究会日時	2021 年 6 月 22 日（木）10:40～11:40
場所	オンライン（Zoom）による開催
出席者数	1 名（専任教員 1 名・非常勤講師 0 名）
所員考察	授業もわかりやすく、研究会も終始和やかな雰囲気で行われた。特に大きな問題点はなかったが、出席者数が少なかったのが残念であった。これはひとえに、報告者の広報が足りなかったことに起因すると考えている。次回以降の課題としたい。

(4)法学部

科目名称	演習 IIA／（起業家体験プログラム）
担当教員名	北川 徹（法学部教授）
授業日時	2021 年 10 月 20 日（水）3 時限目（13:10～14:50）
研究会日時	2021 年 10 月 20 日（水）15:00～16:40
場所	授業観察：大学 8 号館 401 教室 授業研究会：大学 10 号館 2 階第 1 中会議室
出席者数	2 名（専任教員 2 名・非常勤講師 0 名）
所員考察	対面授業で授業研究会を実施したが、オンライン授業のほうが参加者を集めやすいと感じた。オンライン授業と対面授業が混在している状況における過渡的な問題かもしれない。 授業研究会への参加者が興味を持って参加して下さったことによって、研究会は円滑に進んだ。授業の形式だけでなく、授業の内容（起業家体験プログラム）についてのコメントが多かった点が、今回の特徴であったように思われる。

3-5 新任教員研修

3-5-1 新任教員研修概要

高等教育開発・支援センターでは、本学に着任した大学専任教員・常勤講師に対し、教育・研究活動が円滑に開始できるよう、毎年4月に新任教員研修を実施している。なお、本年度はコロナウイルス感染拡大が続く現状を鑑み、規模を縮小の上、オンライン形式により実施し、別途質問期間を設けることにより、双方向による対応策を確保した。

3-5-2 2021年度開催実績

担当：高等教育開発・支援センター教育開発・支援課（FDチーム）

形式：オンラインによるオンデマンド形式（視聴時間およそ90分）

日時：2021年4月1日（木）10:00～同30日（金）17:00

質疑応答期間：2021年4月12日（月）～同16日（金）12:30～13:30（期間外は個別対応）

内容：

1. 所長挨拶
2. 高等教育開発・支援センターの役割、FD活動の紹介とその意義、補助金との関係
3. 高等教育開発・支援センター説明
4. 情報機器の貸出手順（ヘルプデスク）
5. 学生へのサポート体制（サポートデスク）
6. QLAとその役割
7. 一般教室視聴覚設備（大学2・5・8号館）の操作説明
8. 遠隔授業の実施に向けて

対象：2021年度4月1日付採用新任教員※（大学教員・常勤講師）

※ 2020年度はコロナウイルス感染拡大により未開催だったことから、本年度に限り2020年度着任者も任意での参加対象とした

3-6 シラバスワークショップ

3-6-1 シラバスワークショップ概要



※写真は 2019 年度開催時

高等教育開発・支援センターでは、シラバスの記入要領が開示となる 12 月に「シラバスワークショップ」を例年開催している。講義内容が学生に伝わりやすい表現方法は何か、学生の学ぶ力を引き出す効果的な学習方法とは何かなど、授業設計を明確にする観点から、記入方法を理解するための講師による講義と、学生アシスタントの QLA を活用したシラバス案についてのワークショップという 2 部構成により、シラバスの作成方法を効果的に身に着けることを目的とする。

3-6-2 2021 年度開催実績

本年度のシラバスワークショップについては、開催の方向で検討・調整を進めていたが、コロナウイルス感染状況に鑑み、開催を見合わせることにした。

3-7 CALL 活用勉強会

3-7-1 CALL 活用勉強会概要

高等教育開発・支援センターでは、授業で利用する教員または今後利用する可能性のある教員を対象に、授業開始時期の春と秋の 2 回、語学学習用システムである CALL システム（CaLaboEX）の操作方法について講習会を実施しており、基本操作方法の習得による活用の拡大を図っている。

3-7-2 2021 年度開催実績

本年度の CALL 活用勉強会については、コロナウイルス感染状況に鑑み、開催を見合わせることにした。

3-8 授業支援ボックス

3-8-1 授業支援ボックス概要

授業支援ボックスは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社（旧社名：富士ゼロックス株式会社）が開発したシステムで、テストやレポートなどの紙文書を専用の複合機でスキャンするだけで、自動的に学修管理システム（本学では「WebClass」）に登録できるシステムである。

高等教育開発・支援センターでは、採点結果の「WebClass」への一括登録だけではなく、採点結果一覧の作成、答案の並べ替え等も容易といった充実した機能を重視し、FDにおける授業改善策の1つとして学内2か所に同システムの複合機を設置、採点に関わる作業効率化を推進するツールとして利用拡大を進めてきた。

3-8-2 利用実績

コロナ禍における授業スタイルの変化による利用の減少に加え、開発元である富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の開発終了により、本学では2022年2月末日を以ってサービスを終了することとした。

4. 教育活動表彰制度

(成蹊ティーチングアワード)

4-1 成蹊大学教育活動表彰制度

4-1-1 成蹊大学教育活動表彰制度概要

本学では、教育において優れた功績を挙げた教員を顕彰するため、2016年2月より「成蹊大学教育活動顕彰制度」を制定しており、「優れた授業を行っている」、もしくは「授業改善への取り組みを顕著に行っている」教員に対し、その功績を「成蹊ティーチングアワード」として表彰を行っている。なお、選考にあたっては、学生からの「授業評価アンケート」の結果についても評価項目として加味している。

4-1-2 2020年度成蹊大学教育活動表彰制度「成蹊ティーチングアワード」受賞者

前年度に優れた取り組みを行った教員について、翌年度前期に選定しており、2020年度対象者として以下の10名が受賞している。

氏名	所属・役職	主な科目名
小田 宏信	経済学部教授	上級演習、実践ゼミナール、社会経済地理学、経済地理学 A
高橋 史郎	経済学部／経営学部教授	基盤特殊講義（財務会計演習）、財務諸表論、企業会計の基礎、国際会計
吉見 憲二	経済学部／経営学部 准教授	上級演習、情報コミュニケーション技術、情報戦略、情報産業
栗原 大輝	理工学部助教	理工学計算演習、安全管理
西尾 悠	理工学部助教	情報基礎、熱工学 I
榎本 理恵	理工学部助教	Python プログラミング実験、離散数学、確率統計
里村 和秋	法学部教授	教養演習入門、総合教養演習
馬上 美知	法学部 准教授	教育原理、教養演習入門、教育実習、社会科・公民科教育法、社会科教育法 B
黒松 まり	国際教育センター常勤講師	College English
グリーン マイケル	国際教育センター常勤講師	College English、Writing Skills、Academic Listening

5. 奨励金制度

5-1 奨励金制度

本学では、教育活動の充実を目的として、以下に掲げる3つの奨励金を創設し、公募を行っている。

5-2 ブリリアントプロジェクト奨励金

5-2-1 ブリリアントプロジェクト奨励金概要

各学部、各学科または各機関（複数の組織合同で構成するものでも可。以下「学部等」という。）において、本学、各学部等における特色ある教育を推進するためのプロジェクトを支援し、その成果を大学ブランディングに役立てていくことを目的として、教職員（複数名）と学生が協働して運営し、一定の期間（複数年度）活動を行うプロジェクトを公募のうえ、適当と認めるプロジェクトに対し、奨励金を通じて支援する制度である。

5-2-2 申請要件

申請に際しては、以下の要件を必要とする。

- (1) 学部等の DP（学位授与の方針）、CP（教育課程編成の方針）と関連した学部等の特色ある教育の推進に密接な関連性を有すること
- (2) 学部等が組織的に運営し、かつ、学生が運営等種々活動に主体的に参画していること
- (3) 成果が可視化できること
- (4) 一定期間（複数年度）にわたって継続して行うものであること
- (5) このプロジェクトが「大学ブランディング」に寄与するものであること

5-2-3 支援期間

要件を有した、専任教員（教授、准教授、講師、特任教授）がプロジェクト責任者となり、複数の教職員および学生がその運営や活動に関わっている事業であるものについて、最大4年間の支援

5-2-4 公募期間

2021年3月～8月31日

（ただし、公募期間中であっても予算上限に達した場合は公募を締め切る場合がある）

※継続事業と新規事業の合計件数を勘案

審査は、全学FD委員会で行い、学長が決定する。

5-2-5 奨励金

本プロジェクトの奨励金は、学長裁量予算を原資とし、原則として1プロジェクトあたり、年度ごとに50万円を上限とする。ただし、審査において学長が特に認めた場合には、「大学奨励プロジェクト」として、1年度最大100万円まで認める場合がある。

奨励金の申込みは、事業継続中は毎年度行わなければならない。また、事業継続中は毎年度の末に所定の様式による成果報告書を提出する必要があり、本書の提出が次年度継続のための要件とする。

5-2-6 2021 年度実績

本年度は、継続 1 件が採択されている。

5-3 プロジェクト型授業奨励金

5-3-1 プロジェクト型授業奨励金概要

学生に課題探求能力を習得させるためのアクティブラーニングの充実の観点から その一形態としてのプロジェクト型授業（PBL: Project Based Learning）に対し、奨励金を通じて支援する制度である。

5-3-2 申請要件

申請に際しては、以下の要件を必要とする。

- (1) 学外の特定の組織等（例：地方自治体、企業、非営利団体、商店街等）と連携し、当該組織等の課題解決（例：新商品・サービス・経営戦略・地域振興方策の企画立案等）に学生に主体的に関与させることを目的とした授業であること
- (2) 学外の特定の組織等との合意に基づいて実施していること
- (3) 所定の様式による「プロジェクト型授業報告書」を提出すること。この際、成果がわかる書類（例：学外組織と共同で実施した報告会の記録等）がある場合には、参考資料として提出すること。
- (4) 私立大学等改革総合支援事業（補助金事業）において、例年 PBL（課題解決型）授業に関する質問項目があり、PBL（課題解決型）授業であることをシラバスにおいて学生に対し明示していること
- (5) 本学専任教員・全学教育講師・常勤講師・客員教員が担当する授業であること。ただし、授業担当者が非常勤講師の場合には、専任教員が窓口となっていればかまわない

5-3-3 支援期間

申請年度とする。

5-3-4 公募期間

2021 年 3 月～10 月末日

（ただし、公募期間中であっても予算上限に達した場合は公募を締め切る場合がある）

審査は、全学 F D 委員会で行い、学長が決定する。

5-3-5 奨励金

本プロジェクトの奨励金は学長裁量経費を原資とし、原則として一授業当たり 10 万円を上限とし、年間 10 件程度を支援の目安とする。

なお、奨励金による支出は交通費、講師謝金、印刷費、通信費等、授業の運営に直接必要な経費が相当し、会議費は、学外の特定の組織などの参加がある場合のみとする。なお、アルコール飲料の支出は不可とする。

5-3-6 2021 年度実績

本年度は、新規 4 件が採択されている。

5-4 教育改革・改善プロジェクト奨励金

5-4-1 教育改革・改善プロジェクト奨励金概要

「教育改革・改善プロジェクト」は、本学において必要になった、教育上の課題で特に迅速に対応することが重要と認められたものに対して、学長裁量予算から「教育改革・改善プロジェクトに係る経費」を支給することにより、本学の教育活動の一層の活性化を推進し、教育水準の向上及び発展を図ることを目的とした制度である。

5-4-2 申請要件

申請に際しては、全学的に教育改革・改善を推進することを目的としたプロジェクトであることを要件とする。

5-3-3 支援期間

申請年度とする。

5-3-4 公募期間

2021年3月～8月末日

（ただし、公募期間中であっても予算上限に達した場合は公募を締め切る場合がある）

審査は、全学FD委員会で行い、学長が決定する。

5-3-5 奨励金

本プロジェクトの奨励金は、学長裁量経費を原資に、原則として1件当たり上限100万円とし、年間3～4件程度が支援の目安となる。

※複数年度にわたっての活動を行う場合には、プロジェクト経費は年度ごとの申請となり、上限額は年度ごととなる。

年度末に、当該年度に係る成果報告書の提出が必要である。

5-3-6 2021年度実績

本年度は、新規1件が採択されている。

6. 成蹊大学公認学習補助員 (QLA)

6-1 成蹊大学公認学習補助員 (QLA)

6-1-1 成蹊大学公認学習補助員概要

本学では、FD 施策の一環として、前身となる学生アシスタント「上級 SA」制度を発展改組する形にて、2018 年度より「成蹊大学公認学習補助員 (Qualified Learning Assistant、以下「QLA」という)」制度を開設、運用を行っている。

学生が QLA として活動するためには、「QLA 育成プログラム」の受講等、後述する要件の充足を必須としており、全要件を満たした認定者は、後掲の通り例年 10～20 名程度で推移している。

SA/TA との相違点として、QLA は FD 活動の一助を担う位置づけであることが挙げられる。学生や教員へのアシスタント的な役割よりも、QLA から学生視点による改善意見や、授業後の反省を踏まえた提案を行う体制、教員の授業改善に活用しているという点が挙げられ、「教員と学生の連携による授業改善」という FD 要素を強く持った、従前の枠組みとは異なったアシスタント制度である。

6-1-2 QLA になるための要件

QLA の要件は以下の通りである。

- (1) 「QLA 育成プログラム」の受講
- (2) 「上級救命講習」修了証の修得※

※ 2020 年度及び 2021 年度については、コロナウイルス感染拡大による講習会への参加リスクを鑑み、修了要件からは除外したうえで、状況終息後に取得を行うこととしている

このうち、上級救命講習については、講習日を基準として 3 年毎に修了証の更新手続きが必要なため、QLA 申請前に既に修得している場合や、活動年数が 3 年を経過する場合には、修了証取得後も更新を行うことを必須としている。

6-2 QLA を活用した授業支援



※写真は 2019 年度授業支援時

6-2-1 2021 年度 QLA による授業支援科目

2021 年度は、以下の科目において授業支援を行い、授業改善に寄与した。

開講学部	科目名称	担当教員名
経済学部	計量経済学Ⅱ	井上 智夫
経済学部	初級統計学Ⅰ	井上 智夫
経済学部	初級マクロ経済学Ⅰ	庄司 俊章
経済学部	マクロ経済学Ⅱ	庄司 俊章
経済学部	初級マクロ経済学Ⅱ	鈴木 史馬
経済学部	GIS ゼミナール	財城 真寿美

6-2-2 QLA による授業支援の取組み

QLA を通じた FD 活動の推進として、次の取組みを行っている。

- (1) 授業期間中前半と後半の 2 回、担当教員・学長直属教員・QLA との間で「授業前研修」を実施し、授業の方針・進行内容の確認・すり合わせを行い、改善点を議論
- (2) 授業内において、QLA が気づいた学生の反応・理解度、授業内容の改善点を学生視点で都度提言

6-2-3 成蹊大学キャラクター「ピーチくん」と連携した QLA 公式キャラクターの策定

QLA による自発的活動の推進と、本学公認としての活動を定義づけるものとして、本学キャラクター「ピーチくん」に QLA の文字を織り込む形でデザインされたキャラクターを QLA 学生が発案。修了式において、QLA 育成プログラム修了者に本キャラクターをあしらったストラップを授与しているほか、学内外における広報活動等に活用している。

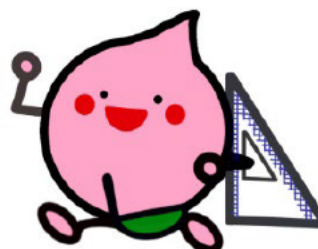


図4 ピーチくん QLA キャラクター

6-3 「QLA 育成プログラム」の実施

6-3-1 「QLA 育成プログラム」概要

QLA の輩出にあたり、本学では毎年後期に「QLA 育成プログラム」を開講しており、2021 年度は以下の通り実施した。



開講期間：2021 年 9 月 28 日（火）～同 12 月 14 日（火）毎週火曜日 1 時限目（8:50～10:30）

全 11 回（ただし、9 月 28 日開催分は体験講習）

場 所：「Zoom」によるオンライン形式＜第 0 回・第 1 回～第 3 回＞

大学 6 号館 502 教室＜第 4 回～第 10 回＞

講 師：勝野 喜以子（学長直属兼経済学部教授）（第 7 回・第 8 回を除く各回）

岩田 淳子（学長直属兼文学部教授・学生相談室カウンセラー）（第 7 回）

高等教育開発・支援センター教育開発・支援課（FD チーム）（第 8 回）

6-3-2 「QLA 育成プログラム」活動実績

※印の回はオンライン形式、それ以外の回は対面形式によりワークセッションを主体とした構成により、実施した。

回数・日時	内容
第 0 回※ (2021 年 9 月 28 日)	・ QLA とは何か、TA との違い ・ なぜ研修が必要か ・ 良い授業とは
第 1 回※ (2021 年 10 月 5 日)	・ QLA とは何か ・ 「ICE」モデル、「ICE」を促す動詞
第 2 回※ (2021 年 10 月 12 日)	・ Zoom、office365 の各種アプリ機能、操作説明
第 3 回※ (2021 年 10 月 19 日)	・ アクティブラーニングとは何か ・ 求められるべき学習支援 ・ 授業支援の意義と認識の共有

回数・日時	内容
第4回 (2021年10月26日)	・「授業」を考える ・シラバスから授業の意図・流れを把握する
第5回 (2021年11月2日)	・「ICE」モデルの復習 ・「ICE」利用した悩み相談
第6回 (2021年11月9日)	・傾聴法の理解 ・犬バラ法を活用した実践
第7回 (2021年11月16日)	・学習障がい ・ハラスメントの理解
第8回 (2021年11月30日)	・教室のマルチメディア機器設備とトラブル対処法の理解
第9回 (2021年12月7日)	・リフレクションを学ぶ ・これまでの振り返り
第10回 (2021年12月14日)	・ライティング支援を学ぶ

※ 各回において、QLAによるアイスブレイクを実施

6-3-3 「QLA 育成プログラム」修了式

開催日：2022年1月27日（木）11:00～12:00

場 所：オンライン（Zoom）による開催

修了者数 25名

6-3-4 QLA 育成プログラム修了者数の推移(2014年度～2017年度は上級SA 育成プログラム修了者数)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
志願者数	10名	8名	11名	9名	30名	18名	21名	37名
修了者数	10名	7名	11名	8名	28名	17名	11名	25名

6-4-1 「QLA プロジェクトチーム」概要

QLA は今後の「学生による学びあいの推進」に向けて中核的な機能を果たすことが期待されているが、未だ学内における普及・浸透が十分とは言えない状況であり、本学における教育の活性化に向けてより一層 QLA の活用の拡大を図る必要があると認識される。

学長からの諮問に基づき、QLA のさらなる充実と活用推進を目的として、時限的なプロジェクト「QLA プロジェクトチーム」を発足させるとともに、事務局を高等教育開発・支援センターに設置した。

(1) 構成員

リーダー：富谷 光良（高等教育開発・支援センター所長・理工学部教授）

サブリーダー：勝野 喜以子（学長直属兼経済学部教授）

メンバー：井上 智夫（経済学部教授）

鈴木 賞子（経営学部教授）

岩田 淳子（学長直属兼文学部教授・学生相談室カウンセラー）

(2) 任務

以下の内容を主とする。

- ・QLA の育成プログラム内での指導
- ・QLA に対する教育的視点からの指導、育成
- ・QLA 活用授業の促進活動に対する支援
- ・QLA を活用（あるいは活用を希望）する教員への助言
- ・QLA 業務にかかる担当職員との連携、助言
- ・その他高等教育開発・支援センター所長が認める QLA 関連活動への支援

(3) 期間

2021 年 9 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

(4) 事務局

高等教育開発・支援センター

6-4-2 「QLA プロジェクトチーム」活動実績

全回とも「Zoom」によるオンライン形式により実施

回数・日時	内容
第1回 (2021年10月14日)	・QLA の現状、とらえ方、考え方の確認 ・検討スケジュール(案) の策定
第2回 (2021年11月11日)	・2022 年度 QLA 活用科目の選定方針について (資料2) ・今後の QLA 育成プログラムの運営形態について
第3回 (2021年12月6日)	・QLA 活用説明会について ・今後の QLA 育成プログラムの運営形態について ・QLA 育成にかかる課題について ・QLA 育成修了要件の可視化と質保証について
第4回 (2022年1月26日)	・2022 年度 QLA 授業内活用申請書につい ・QLA 育成プログラム修了式の開催について ・今後の QLA 育成プログラムの運営形態について ・QLA 育成にかかる課題について ・QLA 育成修了要件の可視化と質保証について
第5回 (2022年2月16日)	・QLA 育成プログラムに関するアンケート集計結果の共有について ・QLA プロジェクトチーム答申について ・「QLA 育成プログラム」実施報告について (資料3)
第6回 (2022年2月28日)	・QLA プロジェクトチーム答申について

6-5 QLA 活用説明会

6-5-1 「QLA 活用説明会」概要

「QLA プロジェクトチーム」の提言を受け、QLA の活用拡大を目的に、「活用を検討している」あるいは「検討しているが活用までつながらない」教員の潜在需要の掘り起こしを目的として、活用説明会を本年度初の試みとして開催した。また、活用説明会の実施に先立ち、理解を深める取り組みとして、活用教員・現役 QLA らのインタビューや活用の様子などをまとめた紹介動画を作成・公開を行い、説明会参加の需要喚起に努めた。

6-5-2 「QLA 活用説明会」開催実績

テーマ	「QLA 活用説明会」
目的・達成目標	「QLA プロジェクトチーム」の提言を受け、以下の目的により実施した。 ① QLA の認知度向上と活用授業の拡大 ② QLA と FD 活動の関係性の明確化と理解促進 ③ QLA 活用を「検討」、あるいは「検討しているが活用申請まではつながらない」教員の潜在需要の掘り起こし ④ 2022 年度の QLA 活用者に対する申請方法・期間の事務手続き内容の告知
担当教員名	井上 智夫（経済学部） 鈴木 賞子（経営学部） 高等教育開発・支援センター教育開発・支援課 FD チーム
実施日時・会場 開催形式	2021 年 12 月 21 日 10:40～12:20 大学 8 号館 301 教室 対面・オンライン（Zoom）併用によるハイブリッド開催・オンデマンド
出席人数（内訳）	12 名（学内 12 名） ※対面 1 名・オンライン 8 名・オンデマンド 3 名
プログラムと構成	1. 開会 2. 学長挨拶 3. QLA の概要 高等教育開発・支援センターFD チーム 4. QLA 活用事例① 井上 智夫（経済学部） 5. QLA 活用事例② 鈴木 賞子（経営学部） 6. 質疑応答 7. QLA 活用に伴う手続きについて 高等教育開発・支援センターFD チーム 8. 高等教育開発・支援センター所長 挨拶 9. 閉会

講評	QLA について、これまで全体理解を深める場が存在しておらず、閉鎖的な組織体と捉えられかねない構造が課題となっていたが、今回学内全体への周知の場が申請書作成時の適切な期間に実現できたことは、活用拡大に向け前進した活動であったと評価している。 一方で、参加者数の飛躍的な増加には至らず、小規模人数での開催となったことで、目的としていた活用拡大も自ずと計画縮小が求められる事態となったことは真摯にとらえなければならない。 今回は、学長諮問の「QLA プロジェクトチーム」における提言を基に、高等教育開発・支援センターと同メンバーとが連携する形での共催としたが、進行手順をはじめ、準備期間や全体統制の観点において、十分な対応・体制構築に対する緊密な連携が図れたとは言い難い場面も散見された。 初回ということであり、開催によって明らかとなった点や、説明すべきポイント、オンデマンドを意識したリアルタイム画像の配信手段など、行ってみて初めてわかった課題も多く、次年度以降の実施に向け、これら反省点を元に改善につなげるとともに、QLA 活動の活性化に寄与したいと考えている。
----	---

7. 学外セミナー等への派遣記録

7-1 学外セミナーへの派遣

7-1-1 概要

本学では、FD 施策の一環として、学外開催の FD セミナーへの派遣を行っており、本年度は、日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」に派遣を行った。

7-1-2 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」

今年度は1名を派遣した。

氏 名：木村 智彦（文学部）

派 遣 日：2021 年 8 月 6 日

開催形式：「Zoom」によるオンライン形式

8. 六大学における合同 FD・SD 等の
実施に関する包括協定

8-1 六大学における合同 FD・SD 等の実施に関する包括協定

本学では、FD 施策の一環として、成城大学・武蔵大学・甲南大学・学習院女子大学・学習院大学と本学（以下「六大学」という。）において、合同で FD・SD 等を実施するために必要な連携、協力に関する包括協定を締結している。なお、2021 年度以降は FD 部門に関する活動は休止している。

主な内容は以下の通り。

- (1)FD・SD 等に関する合同研修会・講演会等の企画立案・実施
- (2)FD・SD 等に関する他大学等による実践事例や政策動向等に関する調査研究・意見交換会等の企画立案・実施
- (3)合同 FD・SD 等の実施により得られた知見の社会への発信
- (4)FD・SD 等に関連する領域における教職員の研修・人事交流等の検討・企画立案・実施
- (5)その他六大学が協議の上同意した事項

9. 関連規則

9-1 FD 関連規則

9-1-1 成蹊大学 FD 実施に関する規則

第1編 基本 第3章 組織改善等 (成蹊大学FD実施に関する規則)

成蹊大学FD実施に関する規則

制 定 2007年3月7日
大 学 評 議 会
最新改正 2019年5月22日

(目的)

第1条 この規則は、成蹊大学（以下「本学」という。）において行われる教育活動の内容・方法を改善し、向上させるための取組み（以下「FD」という。）に関し、全学的視野から推進及び統括を図ることを目的として、成蹊大学全学FD委員会（以下「大学委員会」という。）を置く。

2 前項の委員会のほか、各学部及び各研究科（以下「学部等」という。）にFD委員会（以下「個別委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 大学委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) FDについて全学的に企画・立案し、運営すること。
- (2) 個別委員会からの報告を統括整理し、本学のFDを取りまとめること。

2 個別委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) 当該学部等のFDについて企画・立案し、運営すること。
- (2) 前項の内容について大学委員会に報告すること。

(大学委員会の構成等)

第3条 大学委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長、各研究科長
- (4) 高等教育開発・支援センター所長
- (5) 学長室長
- (6) 教務部長
- (7) その他学長が委嘱する者

2 大学委員会の委員長は、学長とする。

3 前項の委員長は、委員会を招集し、議長となる。

4 大学委員会の委員の任期は、その職の在任期間とする。ただし、第1項第7号に規定する委員の任期は、その都度学長が定める。

5 大学委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

6 委員会に議事録を備え、議事進行の過程及び審議の結果並びに決定事項を記録する。

7 大学委員会に関する事務は、高等教育開発・支援センター教育開発・支援課が所管する。

(個別委員会の構成等)

第4条 個別委員会は、当該学部等において定める委員をもって構成する。

2 個別委員会の委員の任期は、当該学部等において定める。

(規則の改廃)

第5条 この規則の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則 (2007年3月7日制定)

この規則は、2007年4月1日から施行する。

附 則 (2008年11月12日一部改正)

この規則は、2009年4月1日から施行する。

附 則 (2009年5月13日一部改正)

この規則は、2009年6月1日から施行する。

附 則 (2010年5月12日一部改正)

この規則は、2010年5月12日から施行する。

附 則 (2015年6月3日一部改正)

この規則は、2015年6月3日から施行する。

附 則 (2017年3月8日一部改正)

この規則は、2017年4月1日から施行する。

附 則 (2019年5月22日一部改正)

この規則は、2019年6月1日から施行する。

9-1-2 成蹊大学高等教育開発・支援センター規則

第4編 附属機関等 第2章 高等教育開発・支援センター (成蹊大学高等教育開発・支援センター規則)

成蹊大学高等教育開発・支援センター規則

制 定 2014年2月5日
大 学 評 議 会
最新改正 2021年3月10日

(趣旨)

第1条 この規則は、成蹊大学学則第6条第3項の規定に基づき、成蹊大学高等教育開発・支援センター (Seikei Center for Higher Education Development (SCHD)) (以下「センター」という。)に関する基本的な事項について定める。

(目的)

第2条 センターは、成蹊大学 (以下「本学」という。)における教育の質的向上に資する全学的な学修・教育支援施策の企画及び実施並びに教育活動の継続的な改善の推進及び支援を行うことにより、教育の一層の充実及び発展に寄与するとともに、ICT活用による教育に係る支援並びに学園における情報システムの管理及びコンピュータネットワークを用いた教育研究環境の整備を行うことを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 教育内容及び教育方法の改善に係る支援及び推進に関する事項
- (2) ICT活用による教育の開発及び支援に関する事項
- (3) ICT活用に係る学生支援に関する事項
- (4) 学修成果等の測定方法の開発及び実施に関する事項
- (5) 教職員の研修、新任教員オリエンテーション、講演会等の企画及び実施に関する事項
- (6) 学部・学科、研究科等におけるFD (Faculty Development) 活動に係る支援に関する事項
- (7) 学生スタッフ (TA、SA等) の資質向上に係る支援に関する事項
- (8) 学園及び各部門 (各学校、各機関、各部、各室及び各センターをいう。以下この条において同じ。)の情報ネットワークインフラ及び基幹ネットワークシステム並びにこれらに係る機器・設備の管理及び運営に関する事項
- (9) 各部門間の情報システムの管理及び運営に係る連絡調整に関する事項
- (10) 成蹊学園情報システム管理・運用ガイドラインに基づく、情報システム管理台帳の取りまとめに関する事項
- (11) 大学教育に関する学内外の情報の収集及び分析並びに学内外への情報の発信に関する事項
- (12) その他センターの目的達成のために必要な事項

(構成)

第4条 センターは、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 所長
- (2) 所員 若干名
- (3) 課長
- (4) 事務職員

2 前項に掲げる者のほか、センターに、副所長及び事務部長を置くことができる。

3 センターに任期及び業務を定めたセンター所属の専任教員を置くことができる。

(所長)

第5条 所長の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 所長が任期途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副所長)

第6条 副所長は、本学の専任教職員のうちから学長が任命し、又は業務を命令する。この場合において、学長は、専任職員に対し、副所長として業務を命令しようとするときは、あらかじめ学園長と協議しなければならない。

- 2 副所長は、所長を補佐し、所長に事故あるとき又は所長が欠けたときは、その職務を代理し、又はその職務を行う。
- 3 副所長の任期については、前条の規定を準用する。
(所員)
- 第7条 所員は、本学の専任教員のうちから学長が任命する。
- 2 所員は、センターのFD活動及び目的達成に必要な業務を遂行する。
- 3 所員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
(専門スタッフ、研究員等)
- 第8条 第4条に掲げる者のほか、学長がセンター運営上必要と認める場合には、FD及びICTに係る専門スタッフ、研究員等をセンターに置くことができる。
(事務部長)
- 第9条 事務部長は、所長を補佐する。
(センター運営会議)
- 第10条 センターの円滑な運営を図るため、センターに、成蹊大学高等教育開発・支援センター運営会議(以下「運営会議」という。)を置く。
- 2 運営会議は、次の事項を審議する。
 - (1) 第3条に掲げる業務の企画・立案及び実施に関する事項
 - (2) センターの大学予算に関する事項
 - (3) センターに関する規則の制定・改廃に関する事項
 - (4) センターが行うFD活動の企画・立案及び実施に関する事項
 - (5) センターに設置する下部組織に関する事項
 - (6) 学長からの諮問に関する事項
 - (7) その他所長が必要と認めた事項
- 3 運営会議は、次に掲げる委員をもって構成する。
 - (1) 所長
 - (2) 所員
 - (3) 教務部長
 - (4) 教務部課長 1名
 - (5) 課長
 - (6) 第4条第2項及び第3項によりセンターの構成員となった者
 - (7) その他所長が必要と認めた者
- 4 運営会議は、所長が招集し、その議長となる。
- 5 運営会議に議事録を備え、議事進行の過程及び審議の結果並びに決定事項を記録する。
- 6 運営会議に関する事務は、教育開発・支援課が所管する。
(下部組織)
- 第11条 第3条に規定する業務を遂行するに当たり必要が生じた場合は、センターに、小委員会、プロジェクト等の下部組織を置くことができる。
- 2 下部組織の任務、構成員その他必要な事項は、その都度運営会議の議を経て所長が定める。
(事務の所管)
- 第12条 センターに関する事務は、教育開発・支援課が所管する。
(規則の改廃)
- 第13条 この規則の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。
附 則 (2014年2月5日制定)
- 1 この規則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 次に掲げる規則は、廃止する。
 - (1) 成蹊大学情報センター規則(2010年2月10日大学評議会制定)
 - (2) 成蹊大学情報教育協議会規則(2010年2月10日大学評議会制定)
 - (3) 成蹊大学情報教育委員会規則(昭和56年1月21日大学評議会制定)

附 則 (2015 年 6 月 3 日一部改正)

この規則は、2015 年 6 月 3 日から施行する。

附 則 (2016 年 4 月 6 日一部改正)

この規則は、2016 年 4 月 6 日から施行する。

附 則 (2016 年 7 月 6 日一部改正)

この規則は、2016 年 7 月 6 日から施行する。

附 則 (2017 年 2 月 8 日一部改正)

この規則は、2017 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (2018 年 12 月 5 日一部改正)

この規則は、2018 年 12 月 14 日から施行する。

附 則 (2020 年 3 月 11 日一部改正)

この規則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (2021 年 3 月 10 日一部改正)

この規則は、2021 年 4 月 1 日から施行する。

10. 記録・資料

10-1 これまでのFD活動の記録

FD活動の記録（概要・判明分）は以下の通りである。教員の所属等については開催時の内容である。本年度からの発刊にあたり、情報の集約化・集計を進めており、記載内容は発刊時点までの判明分としている。（議題中「SCHED」とあるものは、高等教育開発・支援センターの略称を意味する。）

<2012 年度>

■ 全学FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2012年4月11日)	依頼1	私立大学連盟「平成24年度FD推進ワークショップ」の参加者募集について
第2回 (2012年4月25日)	懇談1	認証評価で指摘されたに改善事項等に対する対応について
第3回 (2012年7月4日)	懇談1	産学連携のプロジェクト型授業について
	依頼1	八王子セミナーハウス第53回大学教員セミナーの開催について
第4回 (2012年7月18日)	報告1	産学連携のプロジェクト型授業について
第5回 (2012年10月10日)	懇談1	大学自己点検・評価委員会答申について
第6回 (2013年2月20日)	報告1	河合塾第3回FDセミナーの開催について

<2013 年度>

■ 全学FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2013年4月24日)	懇談1	2012年度自己点検・評価委員会に対する諮問事項に対する答申について
	懇談2	今後のFD推進について
	依頼1	私立大学連盟「平成25年度FD推進ワークショップ」の参加者募集について
	依頼2	平成25年度マネジメントサイクル（PDCAサイクル）修得研修について
第2回 (2013年10月23日)	懇談1	教育改革・改善プロジェクトの公募について
第3回 (2013年11月6日)	協議1	教育改革・改善プロジェクトの公募について
	懇談1	準備学修（予習、復習等）に必要な時間の目安のシラバスへの掲載について
	懇談2	シラバスの第三者チェックの実施について
	依頼1	アクティブラーニング実演会(情報センター、全学FD委員会共催)について

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2013年11月20日)	協議1	教育改革・改善プロジェクトの選定について
	協議2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談1	準備学修（予習、復習等）に必要な時間の目安のシラバスへの掲載について
	懇談2	シラバスの第三者チェックの実施について
第5回 (2013年12月4日)	協議1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議2	準備学修（予習、復習等）に必要な時間の目安のシラバスへの掲載について
	協議3	シラバスの第三者チェックの実施について
	協議4	シラバス作成方針の制定について
	懇談1	各学部・研究科のFD委員会について
	依頼1	IRに関する講演会（IR推進委員会、全学FD委員会共催）について
	報告1	アクティブラーニング実演会（情報センター、全学FD委員会共催）について
第6回 (2014年1月8日)	報告1	全学FD委員会主催FDセミナー（12月18日開催）について
第7回 (2014年1月22日)	協議1	教育改革・改善プロジェクト計画変更について
	報告1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第8回 (2014年2月5日)	報告1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
第9回 (2014年2月26日)	報告1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について

<2014年度>

■ 全学FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2014年4月9日)	協議1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	報告1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第2回 (2014年4月23日)	懇談1	2014年度授業評価アンケートの実施について
	懇談2	休講及び補講について
第3回 (2014年5月14日)	懇談1	2014年度授業評価アンケートの実施について
	懇談2	休講及び補講について
	依頼1	平成26年度日本私立大学連盟「FD推進ワークショップ」の参加者募集について
	依頼2	大学セミナーハウス第4回新任教員セミナーの開催について
	報告1	中期重点目標について
第4回 (2014年6月11日)	協議1	2014年度授業評価アンケートの実施について
	協議2	プロジェクト型授業奨励金の選定について

開催年月日	区分	議案事項
第 5 回 (2014 年 6 月 25 日)	協議 1	2014 年度授業評価アンケートの実施について
	懇談 1	企業連携授業履修学生誓約書について
	依頼 1	How to Teach University Students in English: (英語での教授法に関する FD 講演会) について
	報告 1	ポータルサイト講習会(基礎からの活用方法) 開催報告について
第 6 回 (2014 年 7 月 9 日)	協議 1	2014 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクト事業 公募要領について
	依頼 1	平成 26 年度教育改革 ICT 戦略大会の開催について
	依頼 2	平成 26 年度教育改革 FD/ICT 理事長・学長等会議の開催について
	依頼 3	平成 26 年度 ICT による教育改善研究発表会の開催について
	依頼 4	大学の MOOC 活用に関するワークショップについて
第 7 回 (2014 年 9 月 10 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの選定について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	2014 年度前期授業評価アンケート結果について
	依頼 1	FD 委員会議事録(学部・研究科)の提出について
	報告 1	Excel で楽々成績集計! 講座開催報告について
	報告 2	英語での教授法に関する FD 講演会報告について
第 8 回 (2014 年 10 月 8 日)	報告 1	Web of Science 講習会開催につい
	報告 2	学生向け Office365 講習会開催につい
第 9 回 (2014 年 10 月 22 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 10 回 (2014 年 10 月 29 日)	協議 1	地域課題解決型研究プロジェクト奨励金の選定について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 11 回 (2014 年 11 月 5 日)	協議 1	地域課題解決型研究プロジェクト奨励金の選定について
	懇談 1	2014 年度後期授業評価アンケートの実施について
第 12 回 (2014 年 11 月 19 日)	懇談 1	2014 年度後期授業評価アンケートの実施について
第 13 回 (2014 年 12 月 3 日)	懇談 1	2014 年度後期授業評価アンケートの実施について
第 14 回 (2015 年 1 月 28 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの選定について
	協議 2	フレッシュヤーズ講座「ロジカル・ライティング」テキストについて
	依頼 1	2014 年度 FD/SD 勉強会について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第 15 回 (2015 年 2 月 4 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの選定について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2014 年 4 月 10 日)	協議 1	2014 年度 ICT 関連講習会について
	報告 1	中期重点目標について
第 2 回 (2014 年 5 月 8 日)	協議 1	センター企画について
第 3 回 (2014 年 6 月 12 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 4 回 (2014 年 7 月 10 日)	懇談 1	次期情報教育システムの導入に伴う利用講習会の開催について
第 5 回（臨時開催） (2015 年 7 月 30 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 6 回 (2014 年 9 月 16 日)	報告 1	中期重点施策の中間点検・評価について
	報告 2	成蹊大学教育改革・改善プロジェクト「上級 SA・TA 育成プログラムの開発」について
第 7 回 (2014 年 10 月 2 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 8 回 (2014 年 11 月 6 日)	報告 1	2014 年度前期活動報告・後期活動計画（中期重点目標を中心に）について
第 9 回 (2014 年 12 月 11 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 10 回 (2015 年 1 月 15 日)	報告 1	FD・SD ワークショップ開催予定について

■ 学内 FD 活動（★は学外公開）

日付	区分	内容	出席者
2014 年 6 月 12 日	センター	教務部共催 FD セミナー 「ポータルサイト講習会（基礎からの活用方法）」 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	20 名
2014 年 7 月 9 日	センター	Excel で楽々成績集計！講座 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	5 名
2014 年 9 月 30 日 10 月 1 日・3 日	センター	新 PC 教室利用者講習会 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	計 8 名
2015 年 2 月 4 日	センター	FD セミナー「本当に知ってる？「FD とは何か？」」 Prof. Bruce Macfarlane Prof. Julie Hall	20 名
2016 年 3 月 2 日	センター	学習障害講演会	

日付	区分	内容	出席者
2016 年 3 月 5 日	センター	FD/SD 講演会★ 教育現場でいま求められていること ～ 2020 年に向けてキーワードをよみとく ～	158 名
2016 年 3 月 11 日	センター	FD セミナー「Academic Citizen としての大学教員」 Prof. Bruce Macfarlane Prof. Julie Hall	23 名

<2015 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 4 月 8 日)	依頼 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	依頼 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
第 2 回 (2015 年 4 月 22 日)	依頼 1	平成 27 年度日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」の参加者募集について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
	報告 2	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 3	地域課題解決型研究プロジェクト成果報告書について
第 3 回 (2015 年 5 月 13 日)	諮問 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 4 回 (2015 年 5 月 20 日)	諮問 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 5 回 (2015 年 6 月 17 日)	協議 1	2015 年度授業評価アンケートの実施について
	依頼 1	2015 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクト公募要領について
第 6 回 (2015 年 7 月 8 日)	協議 1	地域課題解決型研究プロジェクト奨励金の選定について
第 7 回 (2015 年 9 月 9 日)	協議 1	2015 年度「成蹊 2018 プロジェクト」実施に係る予算について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 8 回 (2015 年 9 月 30 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	2015 年度授業評価アンケートセルフレビューについて
第 9 回 (2015 年 10 月 21 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	2015 年度前期授業評価結果について
第 10 回 (2015 年 10 月 28 日)	依頼 1	学習院大学主催「FD 講演会及び懇親会」について
第 11 回 (2015 年 11 月 4 日)	協議 1	成城大学主催「FD ワークショップ及び懇親会」について
第 12 回 (2016 年 2 月 10 日)	依頼 1	「第 2 回 学生相談懇話会」について
	報告 1	FD・SD 合同研修会について
第 13 回 (2016 年 2 月 24 日)	依頼 1	高等教育開発・支援センター主催セミナーの開催について
第 14 回 (2016 年 3 月 2 日)	依頼 1	2016 年度新任教員研修会の開催について
	報告 1	シラバス第三者チェックについて

■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 4 月 6 日)	その他 1	履修指導について

日付	区分	内容
第2回 (2015年4月21日)	懇談1	経済学部指導教授制の復活について(案)
第3回 (2015年5月14日)	諮問1	2016年度「上級演習Ⅰ・Ⅱ」の募集について
	報告1	2014年度 後期授業評価アンケートについて
第4回 (2015年6月4日)	審議1	ゼミナール協議会発足について
	懇談1	授業評価アンケート(前期)の実施について
	懇談2	2016年度授業計画について
第5回 (2015年6月25日)	審議1	FD協議会委員の選出について
	審議2	ゼミナール協議会について
	懇談1	2016年度授業計画について
第6回 (2015年7月16日)	審議1	上級演習定員数について
	懇談1	2015年度経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談2	ルーブリックの作成について
第7回 (2015年9月17日)	—	—
第8回 (2015年10月8日)	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
第9回 (2015年10月29日)	懇談1	授業評価アンケート結果とFD意識向上に向けて
第10回 (2015年11月12日)	懇談1	2015年度後期授業評価アンケートの実施について
第11回 (2015年12月3日)	懇談1	後期授業評価アンケートについて
	懇談2	授業観察&授業研究会について
	懇談3	2016年度新任教員研修企画書
第12回 (2015年12月17日)	—	—
第13回 (2016年1月21日)	懇談1	2016年度シラバス第三者チェックについて
	報告1	FD協議会報告
	懇談1	2016年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	懇談2	2016年度第14回フレッシュャーズ講座(ガイダンス部分)について
第14回 (2016年2月6日)	審議1	シラバスの第三者チェックについて
	報告1	フレッシュャーズ・セミナーのミニシラバスについて
	懇談1	カリキュラム申し合わせの改変について

日付	区分	内容
第 15 回 (2016 年 2 月 18 日)	審議 1	新旧科目対照表について
	報告 1	FD 協議会報告
	懇談 1	2016 年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	懇談 2	2016 年度第 14 回フレッシュャーズ講座（ガイダンス部分）について
	懇談 1	2016 年度シラバス第三者チェックについて
第 16 回 (2016 年 3 月 1 日)	審議 1	2 年次ガイダンスのお知らせについて
	審議 2	新旧科目対照表（英語名称）について
	審議 3	カリキュラムに関する申合せについて
	懇談 1	2015 年度後期授業評価アンケート集計結果の分析について
	懇談 2	ティーチングアワードについて

■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 5 月 27 日)	議題 1	2014 年度後期授業評価アンケートの講評およびセルフレビューに関する件
	報告等 1	2014 年度後期授業評価アンケートに対する、学びの効果を確認するクロス集計の結果データに関する件
	報告等 2	2015 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
第 2 回 (2015 年 7 月 1 日)	報告等 1	2014 年度後期授業評価アンケートの「特色ある授業の取組み」に関する件
	報告等 2	2015 年度前期授業評価アンケート実施について
第 3 回 (2015 年 9 月 30 日)	報告等 1	2015 年度前期授業評価アンケートの「回答率」に関する件
第 4 回 (2015 年 11 月 4 日)	報告等 1	2015 年度前期授業評価アンケートの「集計結果」に関する件
	報告等 2	2016 年度シラバス入力について
第 5 回 (2015 年 12 月 9 日)	報告等 1	2015 年度後期授業評価アンケートの「対象科目」に関する件
	報告等 2	2016 年度シラバス第三者チェックについて
第 6 回 (2016 年 1 月 13 日)	報告等 1	2016 年度シラバス第三者チェックについて
	報告等 2	2015 年度後期授業評価アンケート回答期間について
	報告等 3	学部別 FD 委員会の活動内容について
第 7 回 (2016 年 2 月 24 日)	報告等 1	2016 年度シラバス第三者チェックの実施結果に関する件
	報告等 2	2015 年度後期授業評価アンケート学生回答率について
	報告等 3	2015 年度後期教員セルフレビュー回答期間について
	報告等 4	ティーチングアワードについて

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 4 月 17 日)	報告 1	中期重点目標について
	依頼 1	FD・SD 講演会開催報告「教育現場でいま求められていること～2020 年に向けてキーワードをよみとく～」
第 2 回 (2015 年 5 月 21 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 3 回 (2015 年 6 月 18 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 4 回 (2015 年 7 月 9 日)	懇談 1	FD/SD ICT 講習会について
	報告 1	情報基盤科目の 2014 年度後期授業評価アンケート分析結果について
第 5 回 (2015 年 9 月 15 日)	報告 1	FD・SD 講習会「国内外の大学でも自分の PC でインターネットができるようにしませんか？」(7 月 30 日) の開催報告
	報告 2	授業方法研究<CALL システム編> (9 月 11 日) の開催報告
第 6 回 (2015 年 10 月 9 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 7 回 (2015 年 11 月 27 日)	報告 1	FD/SD Office365 講習会『情報共有の仕方』開催報告
	報告 2	シラバスワークショップについて
第 8 回 (2016 年 1 月 15 日)	協議 1	FD セミナーの開催について
	報告 1	2015 年度前期情報基礎科目授業評価アンケート分析結果について
	報告 2	シラバスワークショップ開催報告

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2015 年 9 月 25 日)	協議 1	2015 年度 FD 協議会の開催日程について
	懇談 1	成蹊大学のための今後の FD 活動について
	懇談 2	高等教育開発・支援センター活動報告 (FD・SD・ICT 講習会等) について
	報告 1	成蹊大学高等教育開発・支援センター規則等について
	報告 2	SCHED 主催イベントの開催状況について
	報告 3	SCHED 設立一周年記念行事について
	報告 4	2015 年度取り組みのプロジェクトについて
	報告 5	中期重点目標「教育の継続的改善」について
第 2 回 (2015 年 11 月 26 日)	懇談 1	授業評価アンケートの実施タイミングについて
	懇談 2	授業評価アンケートのデータについて
	懇談 3	授業観察・授業研究会の企画 (案) について
	報告 1	高等教育開発・支援センター設立一周年記念行事の開催報告
	報告 2	FD/SD 講習会『Office365 で情報共有手段を増やしませんか?』の開催報告
	報告 3	FD/SD 講習会『シラバスワークショップ』の開催について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2016年1月14日)	懇談1	授業公開の企画(案)について
	懇談2	学生・教員の意思疎通の仕組み(案)について
	報告1	Yanmar 利用マニュアルについて
	報告2	FD/SD 講習会『シラバスワークショップ』の開催報告

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2015年5月27日	センター	ネットリテラシー向上等啓発講習会	65名
2015年7月16日	学部	法学部 FD 研修会 「ベネッセアセスメントテストと卒業生満足度調査にかかる結果報告と考察」 株式会社ベネッセ 塩澤一洋(法学部) 企画運営部企画運営課	27名
2015年7月30日	センター	FD, SD 講習会 「国内外の大学でも自分の PC でインターネットが利用できるようにしませんか？」 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	16名
2015年9月11日	センター	CALL 活用勉強会(秋期) チエル株式会社	8名
2015年10月15日・ 11月25日・12月5 日(各日同一内容)	国際	国際教育センターFD(英語一貫)★ 「Extensive Reading: The What, The Why and The How」 Maurice Jamall (文学部)	計29名
2015年11月20日	センター	Office365 講習会『情報共有の仕方』 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	4名
2015年12月10日	センター	シラバスワークショップ(2部構成により実施) 甲斐 宗徳(理工学部・高等教育開発・支援センター所長) 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	計19名
2016年3月2日	センター	学習障害講演会	
2016年3月11日	センター	FD セミナー「Academic Citizen としての大学教員」 Prof. Bruce Macfarlane Prof. Julie Hall	23名

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2015 年 3 月 12 日	教育改善に資する IR 業務について
2015 年 6 月 25 日	授業設計とシラバスを考える
2016 年 3 月 2 日	カリキュラムの体系化と可視化

■ 上級 SA（現 QLA）育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会） 2015 年 10 月 4 日※ 10 月 20 日・10 月 27 日・ 11 月 3 日・11 月 10 日・11 月 17 日・11 月 24 日・ 12 月 1 日・12 月 8 日・12 月 15 日・12 月 22 日	講師： 勝野 喜以子（学長直属） 岩田 淳子（文学部） 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2016 年 2 月 2 日	修了生：7 名

<2016 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 4 月 6 日)	懇談 1	2015 年度後期授業評価アンケート結果について
	依頼 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	依頼 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
	依頼 3	成蹊ティーチングアワードの一次候補者の推薦について
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 2	地域課題解決型研究プロジェクト成果報告書について
第 2 回 (2016 年 4 月 20 日)	懇談 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	依頼 1	学長主催 SD・FD セミナーについて
	懇談 2	平成 28 年度日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」の参加者募集について
第 3 回 (2016 年 5 月 11 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	懇談 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 4 回 (2016 年 6 月 1 日)	協議 1	新任教員研修について
	依頼 1	全教員を対象とした F D の開催について
第 5 回 (2016 年 6 月 16 日)	協議 1	授業研究会について
	協議 2	授業公開のテストランについて
	依頼 1	F D セミナー（ディープラーニング）について
	その他 1	学長主催 SD・FD セミナー（6 月 22 日開催）に関する事前研修
第 6 回 (2016 年 6 月 22 日)	協議 1	2016 年度前期授業評価アンケート設問について
	懇談 1	2015 年度後期授業評価アンケート結果について
	依頼 1	学内教職員向け SD 研修会（学長による大学運営に関する第 2 回説明会）の開催について
	依頼 2	2016 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクト公募要領について
第 7 回 (2016 年 7 月 20 日)	協議 1	ティーチングアワードの公示原稿について
第 8 回 (2016 年 9 月 7 日)	協議 1	授業研究会（パイロットスタディ）について
	協議 2	2016 年度成蹊大学教育改革・改善プロジェクトの申請について
	報告 1	ティーチングアワードの公示について
第 9 回 (2016 年 9 月 28 日)	協議 1	2016 年度プロジェクト型授業奨励金の申請について
	協議 2	2016 年度前期授業評価アンケート結果について
第 10 回 (2016 年 10 月 19 日)	協議 1	2016 年度プロジェクト型授業奨励金の申請について
第 11 回 (2016 年 11 月 16 日)	懇談 1	ループリック、学修ポートフォリオについて
第 12 回 (2016 年 11 月 19 日)	懇談 1	ループリック、学修ポートフォリオについて
	依頼 1	F D 研修参加者の把握について

開催年月日	区分	議案事項
第 13 回 (2017 年 2 月 8 日)	依頼 1	第 2 回学生相談懇談会について
第 14 回 (2017 年 2 月 22 日)	協議 1	授業支援ボックスの設置場所について
	報告 1	経済学部におけるルーブリック・学修ポートフォリオ実施報告について
	報告 2	新任教員の FD 研修について
第 15 回 (2017 年 3 月 8 日)	協議 1	成蹊大学 F D 実施に関する規則の一部改正について

■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 4 月 5 日)	審議 1	ティーチング・アワードの申合せ(案)について
	審議 2	ティーチング・アワードの候補者の選出について
	審議 3	FD 研修について
	審議 4	ルーブリックについて
	審議 5	指導教授制導入に伴う担当教員の連絡先取扱いについて
	その他 1	2016 年度 後期 1 年次対象個別履修相談について
第 2 回 (2016 年 4 月 21 日)	審議 1	2016 年度 経済学部 F D 委員の年間業務について
	審議 2	ゼミナール協議会について
	報告 1	ティーチングアワード推薦候補者について
	懇談 1	ルーブリックの運用について
	懇談 2	学修ポートフォリオの運用について
	懇談 3	ティーチング・アワードのプロジェクトチームについて
	懇談 4	ルーブリック、学修ポートフォリオのプロジェクトチームについて
第 3 回 (2016 年 5 月 12 日)	審議 1	ゼミナール協議会について
	報告 1	2014 年度 後期授業評価アンケートについて
	懇談 1	ルーブリックの運用について
	懇談 2	学修ポートフォリオの運用について
	懇談 3	2017 年度「上級演習Ⅰ・Ⅱ」の募集について
	懇談 4	経済学部活性化プランについて
	懇談 5	ティーチング・アワードのプロジェクトチームについて
	懇談 6	ルーブリック、学修ポートフォリオのプロジェクトチームについて

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2016年6月2日)	審議1	ループリックの運用について
	審議2	学修ポートフォリオの運用について
	審議3	上級演習履修変更手続きに関する件について
	審議4	上級演習Ⅰ欠席過多学生に関する件について
	報告1	授業評価アンケート（前期）の実施について
	懇談1	2017年度 授業計画について
	懇談2	2017年度「上級演習Ⅰ・Ⅱ」の募集について ・海外研修予定者の上級演習及び卒業研究の開講について ・学生主体上級演習（ゼミ）説明会の日程について ・ゼミナール協議会について
第5回 (2016年6月23日)	審議1	第2回学部FD研修会について
	審議2	ゼミナール協議会について（再）
	報告1	学修ポートフォリオの運用について
	報告2	ループリックの運用について
	懇談1	2017年度授業計画について
	懇談2	シラバスと3ポリシーについて
第6回 (2016年7月16日)	報告1	2016年度経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談1	2017年度授業計画について
	懇談2	演習科目のティーチングアワード候補者選定の評価基準（案）
	懇談3	卒業研究の成果基準の目安について（案）
	懇談4	学生面談の記録および面談体制について
第7回 (2016年9月15日)	懇談1	学修ポートフォリオとループリックの活用について
第8回 (2016年10月6日)	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
第9回 (2016年10月27日)	懇談1	授業評価アンケート結果とFD意識向上に向けて
第10回 (2016年11月17日)	審議1	2017年度シラバス作成について
	懇談1	学修ポートフォリオとループリックの実施について
	懇談2	学生の評価システムについて
	懇談3	2016年度前期 授業評価アンケート結果の課題対応について
第11回 (2016年12月1日)	審議1	学部FD研修 プロジェクト型授業について
	懇談1	2016年度前期 授業評価アンケート結果の課題対応について
第12回 (2016年12月15日)	報告1	IR推進委員会「学生の学修時間・学修行動に関するアンケート」結果について
	懇談1	演習科目のティーチングアワード候補者選定の評価基準
第13回 (2017年1月26日)	懇談1	2017年度シラバス第三者チェックについて
	懇談1	2017年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	懇談2	演習科目のティーチングアワード候補者選定の評価基準について

開催年月日	区分	議案事項
第 14 回 (2017 年 2 月 6 日)	審議 1	ティーチング・アワードの申合せ（案）について
	報告 1	フレッシュヤーズ・セミナーのミニシラバスについて
	懇談 1	ループリック及び学修ポートフォリオのプロジェクトについて
	懇談 2	カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2017 年 2 月 17 日)	審議 1	カリキュラム申し合わせの改変について
	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
	報告 2	ループリックと学修ポートフォリオの結果について
	懇談 1	ティーチングアワードについて
第 16 回 (2017 年 3 月 1 日)	審議 1	2 年次ガイダンスのお知らせについて
	審議 2	ティーチングアワードについて
	審議 3	各年次履修ガイドについて（ガイダンス用：2017～）
	報告 1	シラバス第三者チェックによる修正について
	懇談 1	2016 年度後期授業評価アンケート集計結果の分析について

■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 5 月 25 日)	報告等 1	2015 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
第 2 回 (2016 年 6 月 29 日)	報告等 1	2015 年度後期授業評価アンケートのクロス集計に関する件について
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート実施について
	報告等 3	理工学部 FD 委員会主催「FD 研修会」について
第 3 回 (2016 年 9 月 28 日)	報告等 1	理工学部 FD 委員会主催「FD 研修会」（アセスメントテスト及びアンケート結果報告会）実施報告に関する件
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
第 4 回 (2016 年 11 月 9 日)	報告等 1	2017 年度シラバス入力に関する件
	報告等 2	2016 年度前期授業評価アンケート学科毎集計結果に関する件
	報告等 2	2016 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 5 回 (2016 年 12 月 7 日)	報告等 1	2017 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 6 回 (2017 年 1 月 11 日)	報告等 1	2017 年度学生の学修時間、学修行動に関するアンケート結果に関する件
	報告等 2	2018 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 3	2017 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 7 回 (2017 年 2 月 23 日)	報告等 1	第 2 回学長室全学教育機構セミナー（2016 年 12 月 3 日実施）に関する件
	報告等 2	2017 年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等 3	2016 年度後期授業評価アンケート学科毎集計結果に関する件
	報告等 4	2016 年度後期授業評価アンケートセルフレビュー入力に関する件

■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 6 月 14 日)	議題 1	文学研究科 3 ポリシー (DP・CP・AP) の修正案について
開催年月日	区分	議案事項
第 2 回 (2016 年 6 月 28 日)	議題 1	文学研究科 3 ポリシー (DP・CP・AP) の修正案について
第 3 回 (2017 年 2 月 7 日)	議題 1	シラバス第三者チェックについて
	議題 2	2016 年度前期授業評価アンケート結果、検討
	議題 3	来年度からの文学部 FD 活動について
第 4 回 (2017 年 2 月 17 日)	議題 1	シラバス第三者チェックについて

■ 高等教育開発・支援センター運営会議 (FD 関連のみ)

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2012 年 4 月 11 日)	依頼 1	中期重点目標について
	報告 2	FD・SD 講習会開催報告
第 2 回 (2016 年 5 月 25 日)	—	(FD 関連議題なし)
第 3 回 (2016 年 6 月 15 日)	依頼 1	授業支援ボックスのデモについて
第 4 回 (2016 年 7 月 7 日)	報告 1	ネットリテラシー講習会開催報告
第 5 回 (2016 年 9 月 28 日)	懇談 1	授業研究会について
	報告 1	授業支援ボックスのデモ実施報告
	報告 2	上級 S A 合宿実施報告
	報告 3	2016 年度秋季 CALL 講習会 開催報告
第 6 回 (2016 年 11 月 24 日)	報告 1	FD セミナー「教員と学生で考える デジタル教材のかたち」開催予定について
	報告 2	シラバスワークショップ開催予定について
第 7 回 (2017 年 1 月 12 日)	報告 1	デジタル教材研究会 開催報告
	報告 2	シラバスワークショップ 開催報告
	報告 3	教職基礎教養強化講座 開催予定

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2016 年 4 月 12 日)	報告 1	成蹊大学高等教育開発・支援センター規則等について
	報告 2	2015 年度成蹊大学 FD 協議会の概要
	報告 3	SCHED 開催イベントの報告について
	報告 4	中期重点目標「教育の継続的改善」について
	報告 5	2016 年度 SCHED 主催イベント（新任教員 4 月研修・春季 CALL システム講習会）の報告について
	協議 1	2016 年度 FD 協議会の開催日程について
	懇談 1	今後の FD 活動について
第 2 回 (2016 年 5 月 17 日)	協議 1	新任教員夏研修について（情報基盤科目）
	協議 2	授業研究会について
	協議 3	授業公開について
	報告 1	FD セミナー「Academic Citizen としての大学教員」の開催報告
	報告 2	学長への上申書の共有
第 3 回 (2016 年 6 月 14 日)	協議 1	授業研究会について
	協議 2	授業公開のテストランについて
	協議 3	次回 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	授業支援ボックスのデモンストレーションについて
	報告 1	全学 FD 委員会への上申報告
	報告 2	私立大学等改革総合支援事業について
	報告 3	新任教員研修『上級救命講習』開催について
	報告 4	SCHED 主催講習会『Office365「包括機能説明＆実習」』実施について
	報告 5	SCHED 主催 FD セミナー『深い学びへのアプローチ～学生の理解を深める教授法～』開催について
第 4 回 (2016 年 7 月 30 日)	協議 1	FD 関連：QLA 育成プログラム・授業研究会の実施について
	報告 1	FD 活動方針について
	報告 2	2017 年度前期授業研究会について
	報告 3	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告 4	平成 29 年度改革総合支援事業タイプ 1 について
第 5 回 (2016 年 9 月 29 日)	依頼 1	授業公開（後期）ご協力をお願い
	報告 1	『CALL 教室活用研究会』実施について
	報告 2	『上級 SA 研修合宿』実施について
	報告 3	『授業研究会』開催について
第 6 回 (2016 年 10 月 20 日)	協議 1	FD 参加者の情報提供方法について
	報告 1	『授業研究会』（途中経過）実施について
	報告 2	『ICT 機器を使った教材開発研究会（仮）』開催について
	報告 3	『シラバスワークショップ』開催について
	報告 4	ポータルの英語マニュアルの整備について

開催年月日	区分	議案事項
第 7 回 (2016 年 11 月 24 日)	協議 1	2017 年度新任教員 4 月研修について
	報告 1	学内文書およびコンテンツの英語化の方針について
	報告 2	『授業研究会』実施について
第 8 回 (2016 年 12 月 22 日)	協議 1	『授業研究会』について
	報告 1	『デジタル教材研究会』実施について
	報告 2	『シラバスワークショップ』実施について
	懇談 1	私立大学等改革総合支援事業タイプ 1 について

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2016 年 4 月 5 日	センター	新任教員研修	17 名
2016 年 4 月 6 日	センター	CALL 活用勉強会 (春期) チエル株式会社	15 名
2016 年 4 月 7 日	学 部	経済学部 FD 研修会 「「上級演習」の履修指導に必要な情報共有・チャレンジセブンの学生の学修成果を高める教育支援の推進」 経済学部 FD 委員会	42 名
2016 年 5 月 27 日	センター	Office365『包括機能説明&実習』 日本マイクロソフト株式会社	19 名
2016 年 6 月 23 日	学 部	経済学部 FD 研修会 「国内外大学の FD 推進、連携プログラムによる教育改革事例」 経済学部 FD 委員会	39 名
2016 年 7 月 5 日	センター	ネットリテラシー向上等啓発講習会 FutureOne 株式会社<東京都からの外部派遣>	22 名
2016 年 7 月 8 日	センター	FD セミナー★ 「深い学びへのアプローチ～学生の理解を深める教授法」 加藤 かおり (帝京大学)	21 名
2016 年 7 月 14 日	学 部	経済学部 FD 研修会 「ベネッセ i-キャリアアセスメントテストと卒業生満足度調査にかかるとの結果報告と考察」 株式会社ベネッセ 企画運営部調査企画課	43 名
2016 年 7 月 14 日	学 部	法学部 FD 研修会 「ベネッセ i-キャリアアセスメントテストと卒業生満足度調査にかかるとの結果報告と考察」 株式会社ベネッセ 塩澤 一洋 (法学部)	30 名
2016 年 9 月 12 日	センター	CALL 活用勉強会 (秋期) チエル株式会社	8 名

日付	区分	内容	出席者
2016年10月7日	センター	授業研究会「マーケティング<2>」 石井 裕明（経済学部）	9名
2016年10月27日	センター	授業研究会「古典文学基礎研究」 平野 多恵（文学部）	4名
2016年10月28日	センター	授業研究会「認知工学」 竹本 雅憲（理工学部）	3名
2016年11月14日	センター	授業研究会「成蹊を知る」 北川 浩（全学共通）	6名
2016年11月22日	センター	授業研究会「民事法特殊講義Ⅱ（企業・市場と法）」 北川 徹（法学部）	5名
2016年11月24日	センター	FD研修会 「教員と学生で考える デジタル素材の形」 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	13名
2016年12月9日・ 15日（各日同一内 容）	国 際	国際教育センターFD（英語一貫）「Student-Centered Learning, Texts and Classroom Issues」 Barnaby Ralph（文学部）	計15名
2016年12月15日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	7名
2017年2月6日	センター	教職課程指導室共催 教職基礎教養強化講座「授業におけるICT講座」 教職課程指導室 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	3名
2017年2月22日	センター	「ピア・ラーニングを促進するICT活用法研究会」	12名

■ ティーチングアワード（2015年度授業）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
上田 泰	経済学部教授	人間行動と組織
石井 裕明	経済学部准教授	ブランド戦略
浜松 翔平	経済学部助教	競争戦略
竹本 雅憲	理工学部准教授	認知工学
脊戸 和寿	理工学部講師	コンピュータ基礎
平野 多恵	文学部教授	実践する日本文化
塩澤 一洋	法学部教授	民法、知的財産権法、LEI（民法発展講義）
Denny Lam	国際教育センター常勤講師	English for the Work Place
北山 修悟	法科大学院教授	民事法に係る諸科目

■ 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」派遣者

氏名（所属）	派遣期間・会場	テーマ
野原 将揮（法学部講師）	2016 年 8 月 4 日・5 日 グランドホテル浜松	大学教員の職能開発と FD

■ 上級 SA（現 QLA）育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会） 2016 年 10 月 4 日※ 10 月 11 日・10 月 18 日・10 月 25 日 11 月 1 日・11 月 8 日・11 月 15 日・11 月 22 日・ 11 月 29 日・12 月 6 日・12 月 13 日 2018 年 1 月 10 日	勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部） 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2017 年 2 月 1 日	修了生：11 名

<2017 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 5 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	協議 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
	協議 3	教育改革・改善プロジェクトの公募について
	協議 4	教育改革・改善プロジェクトの申請について（前年度からの継続事業）
	協議 5	ループリック・学修ポートフォリオの検討について
	懇談 1	授業評価アンケート結果について（2016 年度後期）
	依頼 1	一般財団法人全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」の参加について
	依頼 2	公益財団法人大学セミナーハウス「新任教員研修セミナー」について
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第 2 回 (2017 年 4 月 19 日)	依頼 1	ティーチングアワードの選出について（2016 年度分）
	依頼 2	日本私立大学連盟「FD推進ワークショップ」の参加者募集について（平成 29 年度）
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
第 3 回 (2017 年 5 月 10 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	FD参加状況について
	懇談 2	授業研究会について
第 4 回 (2017 年 5 月 16 日)	懇談 1	学科別の通算 GPA 分布について
第 5 回 (2017 年 5 月 24 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 6 回 (2017 年 6 月 7 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
	協議 2	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 3	成蹊大学 FD 活動方針について
第 7 回 (2017 年 6 月 21 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について（追加）
	懇談 1	e-ラーニング教材に関するアンケート結果について
	報告 1	成蹊大学 FD 活動方針について（修正）
第 8 回 (2017 年 7 月 5 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について（追加）
第 9 回 (2017 年 7 月 19 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について（追加）
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	懇談 1	FDの参加者把握について
第 10 回 (2017 年 9 月 6 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	報告 1	経済学部「学生生活ポートフォリオ」について

開催年月日	区分	議案事項
第 11 回 (2017 年 10 月 4 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 12 回 (2017 年 10 月 18 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	懇談 1	授業評価アンケート結果について (2017 年度前期)
第 13 回 (2017 年 10 月 25 日)	依頼 1	高等教育開発支援センター・学長室共催 F D 講習会の開催について
第 14 回 (2017 年 12 月 20 日)	懇談 1	学生の学修時間、学修行動に関するアンケート結果について (2017 年度)
	依頼 1	一財) 全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」 (第 5 回、平成 30 年度) の事前案内について
	報告 1	一財) 全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」 (第 4 回、平成 29 年度) 実施報告について
第 15 回 (2018 年 2 月 21 日)	懇談 1	プロジェクトについて (2017 年度の報告、2018 年度の申込等)
	懇談 2	師弟協働型プロジェクト (仮称) の申込要領について
	依頼 1	一財) 全国大学実務教育協会「能動的学修の教員研修リーダー講座」 (第 5 回、平成 30 年度) の事前案内について
	報告 1	新任教員の F D 研修について
第 16 回 (2018 年 3 月 7 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の公募について
	協議 2	地域課題解決型研究プロジェクトの公募について
	協議 3	教育改革・改善プロジェクトの公募について
	懇談 1	ブリリアントプロジェクトの申込要領について

■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 6 日)	審議 1	2016 年度 ティーチャングアワードの候補者の選定について
	審議 2	ループリックならびにポートフォリオの改善について
	審議 3	各種届出決裁の担当教員について
	審議 4	F D 研修の年間計画について
	報告 1	学生生活ポートフォリオの入力説明について (2018 年度対応)
第 2 回 (2017 年 4 月 20 日)	審議 1	2016 年度 ティーチャングアワードの候補者の選定について
	審議 2	FD 研修について
	懇談 1	ゼミナール協議会について
	懇談 2	ループリックならびに学生生活ポートフォリオの改善について

開催年月日	区分	議案事項
第 3 回 (2017 年 5 月 11 日)	審議 1	ゼミナール協議会について
	懇談 1	ループリックについて
	懇談 2	学修ポートフォリオについて
	懇談 3	経済学部活性化プランについて
	その他 1	F D 研修『学生へのフィードバックによる授業改善ワークショップ』 (授業支援ボックス) 開催について
第 4 回 (2017 年 6 月 1 日)	審議 1	ループリックについて
	審議 2	学修ポートフォリオについて
	報告 1	授業評価アンケート (前期) の実施について
	報告 2	学生の学修評価の把握に関するアンケート結果について
	懇談 1	ループリックについて
	懇談 2	学生生活ポートフォリオについて
	懇談 3	シラバスについて
	懇談 4	105 分 13 回授業とアクティブラーニングについて
	懇談 5	授業支援ボックスの活用について
第 5 回 (2017 年 6 月 22 日)	審議 1	学生生活ポートフォリオについて
	報告 1	2017 年度 経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談 1	シラバスについて
	懇談 2	授業支援ボックスの活用について
	懇談 3	FD 研修会について (学生の学修成果の把握に関するアンケートの結果について)
第 6 回 (2017 年 7 月 13 日)	審議 1	FD 研修会 (9/14) の実施について
	審議 2	学生生活ポートフォリオのデータ集計について
	報告 1	成蹊大学における F D 基本方針と 2017-2018 活動方針について
	懇談 1	FD 研修会の実施計画について
第 7 回 (2017 年 9 月 14 日)	審議 1	授業支援ボックスの活用方法について
	懇談 1	2018 年度シラバス第三者チェックについて
第 8 回 (2016 年 10 月 6 日)	報告 1	第 3 回経済学部 FD 研修会の事後アンケート結果について
	懇談 1	第 4 回経済学部 F D 研修会 (10/26) について ・ 2018 年度 シラバス作成および第三者チェックについて
第 9 回 (2017 年 10 月 26 日)	審議 1	2017 年度の FD 委員会日程について
	審議 2	2017 年度 FD 研修会の実施計画について
	報告 1	シラバスワークショップ (高等教育開発・支援センター主催) について
	懇談 1	2017 年度前期授業評価アンケート結果について
	懇談 2	第 4 回経済学部 F D 研修会 (12/14) 資料について
	懇談 3	第 4 回経済学部 F D 研修会 (12/14) 資料について

開催年月日	区分	議案事項
第 10 回 (2017 年 11 月 16 日)	懇談 1	2017 年度前期 授業評価アンケート結果の課題対応について
	懇談 2	第 4 回経済学部 F D 研修会 (12/14) 資料について (再)
	懇談 3	学生生活ポートフォリオの活用について
第 11 回 (2017 年 11 月 30 日)	審議 1	学生生活ポートフォリオの活用について
	審議 2	第 4 回経済学部 F D 研修会 (12/14) 資料について
	審議 3	学生生活ポートフォリオの活用について
	懇談 1	各会議資料の電子化について
第 12 回 (2017 年 12 月 14 日)	審議 1	各会議資料の電子化について
	懇談 1	e ラーニング教材の利用と開発について
第 13 回 (2018 年 1 月 25 日)	懇談 1	2018 年度シラバス第三者チェックについて
	懇談 1	2018 年度学生に対するガイダンス・履修相談について
第 14 回 (2018 年 2 月 6 日)	審議 1	2018 年度学生に対するガイダンス・履修相談について
	報告 1	フレッシュヤーズ・セミナーのミニシラバスについて
	懇談 1	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2018 年 2 月 16 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正について
	報告 3	2017 年度学生生活ポートフォリオの結果について
	報告 4	ティーチングアワードについて
	懇談 1	学生生活ポートフォリオについて
	懇談 2	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 16 回 (2018 年 3 月 1 日)	審議 1	14 カリキュラム申し合わせの改変について
	審議 2	2 年次ガイダンスのお知らせについて
	報告 1	2017 年度後期 授業評価アンケート集計結果の分析について
	懇談 1	ティーチングアワードについて
	懇談 2	ブリリアント・プロジェクト (仮称) について
	懇談 3	2018 年度 F D 研修会実施計画について

■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 5 月 17 日)	報告等 1	能動的学修の教員研修リーダー講座に関する件
	報告等 2	2016 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 3	2017 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 4	2016 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2017 年 6 月 28 日)	報告等 1	2017 年度前期授業評価アンケート実施について
	報告等 2	理工学部 FD 委員会主催「FD 研修会」について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2017年9月27日)	報告等1	理工学部FD委員会主催「FD研修会」実施報告に関する件
	報告等2	学生生活ポートフォリオの実施について（案）に関する件
	報告等3	学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査）に関する件
	報告等4	学生の学修時間、学修行動に関するアンケートに関する件
第4回 (2017年11月1日)	報告等1	2018年度シラバス入力に関する件
	報告等2	2017年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
第5回 (2017年12月6日)	報告等1	2017年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第6回 (2018年月10日)	報告等1	2017年度学生の学修時間、学修行動に関するアンケート結果に関する件
	報告等2	2018年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等3	2017年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第7回 (2018年2月21日)	報告等1	2017年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等4	ティーチングアワードについて

■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2017年5月10日)	議題1	2016年度成蹊大学ティーチングアワードの選考について
	議題2	文学部における今年度のFD活動について
第2回 (2017年5月26日～31日)※持ち回り開催	議題1	昨年度実施された卒業生アンケート結果について
第3回 (2017年9月17日)	議題1	昨年度後期に実施された授業評価アンケート結果について
第4回 (2017年10月13日～23日) ※持ち回り開催	議題1	今年度前期に実施された授業評価アンケート結果について
第5回 (2018年2月7日)	議題1	シラバス第三者チェックについて
第6回 (2018年2月17日)	議題1	シラバス第三者チェックについて

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 1 日)	検討 1	法学部内部質保証／点検・評価シートについて
	検討 2	ティーチングアワードについて
	検討 3	カリキュラム改変について
第 2 回 (2017 年 4 月 20 日)	検討 1	ティーチングアワードについて
	検討 2	カリキュラム改変について
第 3 回 (2017 年 5 月 11 日)	検討 1	授業評価アンケート集計結果について
	検討 2	授業時間の変更について
第 4 回 (2017 年 6 月 1 日)	検討 1	第 2 回 FD 研修会の開催について
	検討 2	ティーチングアワードについて
	検討 3	副選考について
	検討 4	授業時間および授業回数について
	検討 5	授業評価アンケート学生コメントについて
第 5 回 (2017 年 6 月 22 日)	検討 1	内部質保証の資料作成について
	検討 2	法学部内部質保証／点検・評価シートについて
第 6 回 (2017 年 7 月 13 日)	検討 1	新カリキュラムの検討状況について
第 7 回 (2017 年 10 月 26 日)	検討 1	大学基準協会の指摘事項について
	検討 2	FD 研修会開催について
第 8 回 (2018 年 1 月 25 日)	検討 1	論文題目の管理について
	検討 2	FD 研修会開催について
	検討 3	学部・研究科の運営について
第 9 回 (2018 年 2 月 7 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて
第 10 回 (2018 年 2 月 16 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 13 日)	報告 1	授業支援ボックスについて
	報告 2	中期重点目標について
	報告 3	FD・SD 講習会開催報告
第 2 回 (2017 年 5 月 18 日)	依頼 1	上級 SA の授業活用について
	報告 1	上級 SA レジューメ勉強会報告
第 3 回 (2017 年 6 月 22 日)	報告 1	「私立大学等改革総合支援事業」における補助金対象事業について
	報告 2	情報基盤科目授業評価アンケート（2016 年度後期）の分析結果について
	報告 3	授業支援ボックス実運用講習会 開催予定について
第 4 回 (2017 年 7 月 13 日)	報告 1	授業支援ボックス実運用講習会開催報告
	報告 2	CALL システム講習会開催予定
第 5 回 (2017 年 9 月 14 日)	懇談 1	2017 年度後期授業研究会開催予定
	報告 1	上級 SA 合宿実施報告
	報告 2	2017 年度秋季 CALL 活用勉強会開催報告
第 6 回 (2017 年 10 月 19 日)	報告 1	2017 年度前期授業評価アンケート分析結果について（情報基盤科目）
	報告 2	ループリックに関するワークショップ 開催予定
第 7 回 (2017 年 11 月 16 日)	報告 1	FD セミナー『はじめてのループリック』開催報告
	報告 2	シラバスワークショップ開催予定
第 8 回 (2018 年 1 月 11 日)	協議 1	FD 研修会『授業研究会』開催報告
	報告 1	「持ち込み端末活用方法講習会」開催について
	報告 2	「FD 勉強会」開催について
	報告 3	「プレゼン発表練習会」 実施報告
	報告 4	シラバスワークショップ 実施報告

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2017 年 4 月 27 日)	協議 1	2017 年度 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	各学部等の FD 参加状況について
	依頼 2	各学部・研究科等の FD 活動状況について
	報告 1	SCHED 開催イベントの報告について
	報告 2	中期重点目標「教育の継続的改善」について
	報告 3	ループリック・学修ポートフォリオについて
	報告 4	2017 年度 SCHED 主催イベントの報告について
	報告 5	今後の SCHED 開催イベントについて
第 2 回 (2017 年 5 月 24 日)	依頼 1	学内 FD 情報サイトについて
	報告 1	2017 年度授業研究会について
	報告 2	FD 参加者一覧の閲覧者および編集者について
	報告 3	SCHED 主催 FD イベント『学生へのフィードバックによる授業改善ワークショップ』の報告について
	懇談 1	各学部・研究科等での FD 活動状況について
第 3 回 (2017 年 6 月 15 日)	報告 1	2017 年度前期授業研究会について
	報告 2	学部等別 FD エビデンスフォルダの共有者について
	報告 3	私立大学等改革総合支援事業タイプ 1 について
	報告 4	FD 活動方針について
第 4 回 (2017 年 7 月 20 日)	協議 1	後期 FD 協議会の開催日程について
	報告 1	FD 活動方針について
	報告 2	2017 年度前期授業研究会について
	報告 3	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告 4	平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業タイプ 1 について
第 5 回 (2017 年 9 月 28 日)	報告 1	平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業タイプ 1 について
	報告 2	『2017 年度後期授業研究会』開催について
	報告 3	『CALL 教室活用研究会』実施について
	報告 4	『上級 SA 研修合宿』実施について
第 6 回 (2017 年 11 月 9 日)	報告 1	FD 企画の次年度計画について
第 7 回 (2018 年 1 月 18 日)	依頼 1	次期 FD 協議会委員の選任について
	依頼 2	新年度の各学部等のスケジュールについて
	報告 1	『授業研究会』実施について
	報告 2	『はじめてのループリック』実施について
	報告 3	『シラバスワークショップ』実施について
	報告 4	『スペシャル勉強会』開催について

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2017 年 4 月 6 日	センター	新任教員研修	18 名
2017 年 4 月 6 日	センター	CALL 活用勉強会 (春期) チエル株式会社	7 名
2017 年 4 月 26 日・27 日 5 月 17 日・18 日	センター	FD 研修会 「学生へのフィードバックによる授業改善ワークショップ」	計 31 名
2017 年 5 月 11 日	学 部	法学部 FD 研修会 「2016 年度後期授業評価アンケートから見る課題・改善点について」 塩澤 一洋 (法学部)	30 名
2017 年 6 月 1 日	学 部	法学部 FD 研修会 「学科別通算 GPA 分布から見る課題・改善点について」 塩澤 一洋 (法学部)	27 名
2017 年 6 月 21 日	学 部	文学部 FD 研修会 「ゼミにおける学生の意欲的発言を促す方法について」	40 名
2017 年 6 月 28 日	センター	授業支援ボックス実運用講習会 勝野 喜以子 (大学・高等教育開発・支援センター副所長)	2 名
2017 年 6 月 29 日	センター	授業研究会「民法Ⅱ」 塩澤 一洋 (法学部)	4 名
2017 年 7 月 13 日	センター	授業研究会「キャリアプランニング」 鈴木 賞子 (全学共通)	4 名
2017 年 9 月 12 日	センター	CALL 活用勉強会 (秋期) チエル株式会社	4 名
2017 年 9 月 14 日	学 部	経済学部 FD 研修会 「ICT 活用教育の推進～授業支援ボックスの活用事例紹介～」 経済学部 FD 委員会	41 名
2017 年 10 月 9 日	センター	授業研究会「社会調査の方法」 渡邊 大輔 (文学部)	2 名
2017 年 10 月 25 日	センター	授業研究会「卒業研究<3>」 伊藤 克容 (経済学部)	3 名
2017 年 10 月 30 日・ 11 月 15 日 (各日同一内容)	国 際	国際教育センターFD (英語一貫) 「Increasing Motivation and Confidence: Facebook Secret Groups」 Christopher P. Madden (国際教育センター)	計 13 名
2017 年 11 月 10 日	センター	FD セミナー★ 「はじめてのルーブリック」 沖 裕貴 (立命館大学)	27 名

日付	区分	内容	出席者
2017年11月22日	センター	授業研究会「流体力学Ⅰ」 小川 隆申（理工学部）	6名
2017年12月4日	国際	国際教育センターFD（英語一貫）「Teaching subjects through English (EMI): Issues and strategies」 Julie Dearden Tom Spain (Oxford EMI Training)	9名
2017年12月14日	学部	経済学部 FD 研修会 「シラバス講習会～シラバス作成と第三者チェックについて」 経済学部 FD 委員会	42名
2017年12月22日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	2名
2018年1月11日	センター	ICT 講習会「持ち込み端末活用方法講習会」 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	2名

■ ティーチングアワード（2016年度授業）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
伊藤 克容	経済学部教授	フレッシュャーズ・セミナー、上級演習、卒業研究
井上 潔司	経済学部教授	情報分析演習、フレッシュャーズ・セミナー
福澤 光啓	経済学部准教授	フレッシュャーズ・セミナー、コア演習、卒業研究
石井 卓	理工学部教授	線形数学
世木 寛之	理工学部教授	基礎プログラミング
森住 史	文学部准教授	翻訳・通訳セミナー
原 昌登	法学部教授	労働法、演習
三田 奈穂	法学部助教	日本国憲法、裁判と社会、生命倫理と法、日本法制史
鈴木 理恵	国際教育センター常勤講師	College English、Research methodology、Independent Study
芦沢 キャロリン	国際教育センター常勤講師	College English、Independent Study
峰松 愛子	国際教育センター常勤講師	College English、Academic Listening、Global Perspectives
尾関 幸美	法科大学院教授	企業組織法をはじめとする商法系諸科目
高部 道彦	法科大学院教授	刑法及び刑事訴訟法をはじめとする刑事系諸科目

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2017年9月5日	DP からの一貫性あるカリキュラム設計：追手門学院大学での革新

■ 上級 SA（現 QLA）育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会） 2017 年 10 月 3 日※ 10 月 10 日・10 月 17 日・10 月 24 日・10 月 31 日 11 月 7 日・11 月 14 日・11 月 21 日・11 月 28 日・ 12 月 5 日・12 月 12 日	講師： 勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部） 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2018 年 1 月 30 日	修了生：8 名

■ 高等教育開発・支援センター・上級 SA「広島大学国際フォーラム」教職員学生共同発表

開催日	テーマ・開催場所	発表者
2018 年 2 月 27 日	<国際フォーラム> 「大学におけるティーチング・アシスタント（TA） 制度改革の挑戦～ 大学・大学院教育の充実にむけ て～」 広島大学東広島キャンパス	勝野喜以子（学長直属） ・ 上級 SA 3 名 ・ 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課職員 3 名

<2018 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2018 年 4 月 11 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトについて
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	懇談 1	授業評価アンケート結果について (2017 年度後期)
	依頼 1	日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」の参加者募集について (平成 29 年度)
	報告 1	プロジェクト型授業奨励金成果報告書について
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト成果報告書について
第 2 回 (2018 年 4 月 25 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
	依頼 1	ティーチングアワードの選出について (2017 年度分)
第 3 回 (2018 年 5 月 22 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	懇談 1	プロジェクト型授業奨励金にかかる依頼状について
	懇談 2	ブリリアントプロジェクトに関する確認事項について
	依頼 1	公益財団法人大学セミナーハウス「新任教員研修セミナー」について
第 4 回 (2018 年 6 月 6 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
第 5 回 (2018 年 6 月 20 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について (追加)
第 6 回 (2018 年 7 月 4 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの申請について
第 7 回 (2018 年 7 月 18 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
第 8 回 (2018 年 9 月 5 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの選定について
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	報告 1	授業での QLA 活用について
第 9 回 (2018 年 10 月 3 日)	協議 1	プロジェクト型授業 (奨励金) の選定について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクトの経費について
第 10 回 (2018 年 10 月 17 日)	協議 1	プロジェクト型授業 学外活動参加同意書について
	報告 1	FD セミナーについて
第 11 回 (2018 年 11 月 7 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金の選定について
第 12 回 (2019 年 2 月 6 日)	協議 1	2019-2020 年度 成蹊大学 FD 方針について
	協議 2	ブリリアントプロジェクト奨励金 公募要領について (2019 年度)
	協議 3	教育改革・改善プロジェクト 公募要領について (2019 年度)
	協議 4	プロジェクト型授業奨励金について (2019 年度)
	協議 5	地域課題解決型研究プロジェクトの廃止について

開催年月日	区分	議案事項
第13回 (2019年3月6日)	協議1	教育改革・改善プロジェクトの申請について①
	協議2	教育改革・改善プロジェクトの申請について②
	依頼1	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について①
	報告1	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について②
	依頼1	成蹊ティーチングアワード一次候補者の選考について

■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年4月5日)	審議1	2017年度 ティーチングアワードの候補者の選定方法について
	審議2	FD研修の年間計画について
	報告1	学生生活ポートフォリオの活用説明について(2018年度対応)
	懇談1	学生生活ポートフォリオの改善について
	懇談2	新学生生活ポートフォリオの検討について
	懇談3	研究倫理について ・他大学の指導事例について ・3～4年次の指導について
第2回 (2018年4月26日)	審議1	2017年度 ティーチングアワードの候補者の選定について
	審議2	FD研修の年間計画について
	報告1	ゼミナール協議会について
	懇談1	各学部等のFD参加状況把握について
第3回 (2018年5月17日)	審議1	ゼミナール協議会について
	懇談1	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」の検討について
第4回 (2018年6月7日)	審議1	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」の検討について
	報告1	授業評価アンケート(前期)の実施について
	報告2	第1回経済学部FD研修会実施結果について
第5回 (2018年6月21日)	報告1	2018年度経済学部父母懇談会アンケート結果について
	審議2	オンライン教材の活用について
	懇談1	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」システムについて
第6回 (2018年7月12日)	報告1	学生生活ポートフォリオのデータ集計について
	懇談1	2018年度FD活動について
	懇談2	新「学生生活ポートフォリオ(仮称)」システムについて
	その他1	2018年度前期 学生生活ポートフォリオの実施について
第7回 (2018年9月13日)	報告1	学生生活ポートフォリオの記録状況について
	懇談1	2019年度 シラバス第三者チェックについて
第8回 (2018年10月4日)	報告1	平成30年度私立大学等改革総合支援事業(タイプ1)の内容について

開催年月日	区分	議案事項
第9回 (2018年10月25日)	懇談1	2018年度前期 授業評価アンケート結果とFD意識向上に向けて
	懇談2	第2回FD研修会(12/6予定)について
	その他1	シラバスワークショップ(高等教育開発・支援センター主催)について
第10回 (2018年11月8日)	審議1	2018年度前期 授業評価アンケート結果からの課題対応について
	懇談1	第2回FD研修会(12/6)について
第11回 (2018年11月22日)	審議1	シラバス作成に関する資料について
	懇談1	学生生活ポートフォリオの活用について
第12回 (2018年12月6日)	審議1	学生生活ポートフォリオの活用について
	審議2	FD委員会の開催日時について
第13回 (2018年12月20日)	報告1	大学運営会議(12/19)について
第14回 (2019年1月24日)	報告1	2019年度 シラバス第三者チェックについて
	懇談1	2019年度 学生に対するガイダンス・履修相談について
第15回 (2019年2月17日)	審議1	2019年度 学生に対するガイダンス・履修相談について
	報告1	2018年度 学生生活ポートフォリオの結果について
	懇談1	14カリキュラム申し合わせの改変について
第16回 (2019年2月18日)	審議1	14カリキュラム申し合わせの改変について
	報告1	シラバス第三者チェックによる修正について

■ 理工学部FD委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年5月23日)	報告等1	2017年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等2	2018年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等3	2017年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第2回 (2018年6月27日)	報告等1	2018年度前期授業評価アンケート実施について
	報告等2	学生の学修成果に関するアンケート(卒業生満足度調査)に関する件
第3回 (2018年9月26日)	報告等1	理工学部FD委員会主催「FD研修会」実施報告に関する件
	報告等2	2017年度卒業生満足度調査(理工学部と文系学部の比較)に関する件
第4回 (2018年11月28日)	報告等1	2019年度シラバス入力に関する件
	報告等2	2018年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等3	2018年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第5回 (2018年12月12日)	報告等1	2018年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第6回 (2019年1月9日)	報告等1	2019年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等2	2018年度後期授業評価アンケート実施に関する件

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2019年2月27日)	報告等1	2017年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等3	2018年度「学生の学修時間の実態、学修行動の把握に関する調査」に関する件
	報告等4	2018年度成蹊ティーチャングアワード選出に関する件

■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年5月16日)	議題1	2017年度成蹊大学ティーチャングアワードの選考について
	議題2	文学部における今年度のFD研修会について
第2回 (2018年7月13日～24日)※持ち回り開催	議題1	昨年度後期に実施された授業評価アンケート結果について
第3回 (2018年7月27日～8月1日・8月24日～28日)※持ち回り開催	議題1	2017年度卒業生満足度調査の結果について
第4回 (2018年9月24日～10月1日) ※持ち回り開催	議題1	2018年度前期に実施された授業評価アンケート結果について
第5回 (2019年2月7日)	議題1	シラバス第三者チェックについて
第6回 (2019年2月16日)	議題1	シラバス第三者チェックについて

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年4月3日)	検討1	法学部内部質保証／点検・評価シートについて
	検討2	自己点検評価について
	検討3	ティーチャングアワードについて
	検討4	学部・研究科の運営について
第2回 (2018年4月26日)	検討1	FD研修会の開催について
	検討1	内部質保証シートの作成について
第3回 (2018年5月17日)	検討1	ティーチャングアワードについて

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2018年6月7日)	検討1	内部質保証の資料作成について
	検討2	自己点検・評価について
	検討3	卒業生アンケートについて
第5回 (2018年6月9日)	検討1	内部質保証の資料作成について
第6回 (2018年9月13日)	検討1	2020年度以降の授業時間等の変更について
第7回 (2018年10月25日)	検討1	成蹊教養カリキュラムプロジェクトについて
	検討2	副専攻について
第8回 (2018年11月8日)	検討1	カリキュラム改編について
第9回 (2018年11月22日)	検討1	カリキュラムと3ポリシーについて
第10回 (2019年2月14日)	検討1	補助金(タイプ1)の改善事項についての取り組みについて
	検討1	シラバス第三者チェックについて
第11回 (2019年3月4日)	検討1	内部質保証に係る指摘事項への対応について
	検討2	法学部3ポリシーの改定について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議 (FD関連のみ)

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2018年5月15日)	報告1	中期重点目標について
	報告2	2017年度後期授業評価アンケート分析結果について(情報基盤科目)
	報告3	高等教育開発および支援センター活動報告(FD・SD・ICT講習会等)
第2回 (2018年6月19日)	懇談1	2017年度後期授業評価アンケート分析結果について
	報告1	「私立大学等改革総合支援事業」における補助金対象事業について
第3回 (2018年7月10日)	懇談1	中期計画アセスメントについて
	報告1	「授業研究会」開催報告
	報告2	「CALLシステム講習会」開催予定
第4回 (2018年9月12日)	報告1	「CALL活用勉強会」開催予定
	報告2	「イベント開催ノウハウ講習会」開催予定
第5回 (2021年1月14日)	報告1	2018年度前期授業評価アンケート分析結果について(情報基盤科目)
	報告2	「QLA合宿」実施報告
	報告3	「CALL活用勉強会」実施報告
	報告4	「イベント開催ノウハウ講習会」実施報告
	報告5	「授業研究会」開催予定
	報告6	「FDセミナー SA・TA活用のからくり」開催予定

開催年月日	区分	議案事項
第 6 回 (2018 年 11 月 16 日)	懇談 1	2018 年度前期授業評価アンケート分析結果について (情報基盤科目)
	報告 1	「ミニ FD スペシャル勉強会」開催報告
	報告 2	「FD セミナー SA・TA 活用のからくり」開催報告
第 7 回 (2019 年 1 月 11 日)	報告 1	後期授業研究会 (10/23・11/8・11/20) 開催報告
	報告 2	「シラバスワークショップ」(12/21) 開催報告

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2018 年 4 月 24 日)	協議 1	2018 年度 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	依頼 2	2018 年度各学部等の FD 活動計画について
	依頼 3	授業研究会について
	報告 1	中期重点目標「教育の継続的改善」について
	報告 2	<実施報告>SCHED 主催イベントについて
	報告 3	<実施計画>SCHED 主催イベントについて
	報告 4	スペシャル勉強会のお知らせ
	報告 5	QLA について
第 2 回 (2018 年 5 月 29 日)	報告 1	2018 年度授業研究会について
	報告 2	FD 参加者一覧の閲覧者および編集者について
	報告 3	SCHED 主催 FD イベント『授業支援ボックス実運用講習会』の報告について
	懇談 1	各学部・研究科等での FD 活動状況について
第 3 回 (2018 年 7 月 10 日)	協議 1	後期 FD 協議会の開催日程について
	報告 1	2018 年度前期授業研究会について
	報告 2	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告 3	平成 29 年度改革総合支援事業タイプ 1 について
	懇談 1	FD 基本方針について
	懇談 2	FD 活動方針について
第 4 回 (2018 年 10 月 5 日)	協議 1	平成 30 年度改革総合支援事業タイプ 1 について
	協議 2	FD アンケートの内容確認
	報告 1	FD セミナー 『授業が変わる！学生が変わる！SA・TA 活用のからくり』開催について
	報告 2	『後期授業研究会』開催について
	報告 3	『CALL 教室活用講習会』について (9/14 実施)
	報告 4	『イベントノウハウ講習会』について (9/14 実施)

開催年月日	区分	議案事項
第5回 (2018年12月14日)	報告1	『授業運営上の工夫』に関するアンケート集計結果
	報告2	2018年度QLA箱根合宿の実施報告(9/9-9/11)
	報告3	『ミニFD-スペシャル勉強会』開催報告(10/5)
	報告4	2018年度後期授業研究会実施報告(10/23、11/8、11/20)
	報告5	FDセミナー『授業が変わる！学生が変わる！SA・TA(QLA)活用のからくり』開催報告(11/1)
	報告6	シラバスワークショップの開催について(12/21)
第6回 (2019年1月10日)	協議1	2019～2020年度成蹊大学FD活動方針について
	依頼1	次期FD協議会委員の選任について
	依頼2	新任教員研修の開催について
	報告1	シラバスワークショップ(12/21)開催報告
	報告2	FD企画の次年度計画について

■ 学内FD活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2018年4月6日	センター	新任教員研修	17名
2018年5月10日	センター	授業支援ボックス実運用講習会 勝野 喜以子(大学・高等教育開発・支援センター副所長)	8名
2018年6月7日	学 部	法学部FD研修会 「2017年度卒業生満足度調査について」 坂野 由紀子(法学部)	31名
2018年6月28日	センター	授業研究会「健康・スポーツの基礎」 武藤 健一郎・稲葉 佳奈子(全学共通)	3名
2018年7月2日	センター	授業研究会「フレッシュャーズ・セミナー」 浜松 翔平(経済学部)	1名
2018年7月11日	学 部	文学部FD研修会 「学生間の意欲的な意見交換を促す方法について」 喜岡 淳治(文学部)	36名
2018年7月17日	国 際	国際教育センター(英語教員)FD「Learning Vocabulary: Sequences and Sounds」 Michael Green(国際教育センター)	14名
2018年9月14日	センター	イベント開催ノウハウ講習会 勝野 喜以子	12名
2018年9月14日	センター	CALL活用勉強会(秋期) チエル株式会社	3名

開催年月日	区分	議案事項	開催年月日
2018年10月5日	センター	ミニFDスペシャル勉強会 井上 智夫（経済学部）	3名
2018年10月23日	センター	授業研究会「メディア英語B」 森住 史（文学部）	4名
2018年11月1日	センター	FDセミナー★ 「授業が変わる！学生が変わる！QLA・SA・TA活用のからくり」 Eric Stude（コロラド大学） 佐藤 万知（広島大学） 井上 智夫（経済学部）	29名
2018年11月8日	センター	授業研究会「実践科学研究スキル」 戸谷 希一郎（理工学部）	10名
2018年11月20日	センター	授業研究会「労働法演習ⅢB/IVB」 原 昌登（法学部）	3名
2018年11月20日	国際	国際教育センター（英語教員）FD「英語俳句を通じた文化認識と言語スキル」 Quenby Hoffman Aoki（国際教育センター）	14名
2018年11月30日	センター	教育改革・改善プロジェクト 『2018 International Learning Assistant Conference』報告会 大野 正智（経済学部） 井上 智夫（経済学部）	
2018年12月5日	学部	経済学部FD研修会 「学生生活ポートフォリオの活用について」 鷹岡 澄子（経済学部）	42名
2018年12月21日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	3名

■ ティーチングアワード（2017年度）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
時岡 規夫	経済学部教授	国際経営
挾本 佳代	経済学部教授	環境問題の基礎
山崎 由香里	経済学部教授	人間情報処理
三浦 正志	理工学部教授	エレクトロニクス計測、電磁気学、電気機械システム
増田 斐那子	理工学部准教授	College English、科学英語
澁谷 智子	文学部准教授	社会学入門、社会福祉概論
山田 崇人	法学部教授	多読で学ぶ英語と文化
立石 洋子	法学部助教	フレッシュヤーズ・セミナー、社会科学方法論、政治学の基礎
ハガ サチエ	国際教育センター常勤講師	Independent Study

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2018 年 7 月 30 日	今後求められる人材育成と高大接続 ～2030 年に向けた大学改革

■ QLA 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会） 2018 年 10 月 2 日※ 10 月 9 日・10 月 16 日・10 月 23 日・10 月 30 日 11 月 6 日・11 月 13 日・11 月 20 日・11 月 27 日・ 12 月 4 日・12 月 11 日	講師： 勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部） 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2019 年 2 月 4 日	修了生：28 名

<2019 年度>

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 10 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について<1 件>
	報告 1	プロジェクト型授業<8 件>
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト<7 件>
	報告 3	ブリリアントプロジェクト<2 件>
第 2 回 (2019 年 4 月 24 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
第 3 回 (2019 年 5 月 22 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
第 4 回 (2019 年 5 月 28 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
第 5 回 (2019 年 6 月 12 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
	懇談 1	GPA の分布の適正性について
第 6 回 (2019 年 7 月 3 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について
	協議 2	ブリリアントプロジェクトの申請について
第 7 回 (2019 年 7 月 24 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について
第 8 回 (2019 年 9 月 11 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの申請について
	懇談 1	シラバス第三者チェックについて
第 9 回 (2019 年 10 月 2 日)	懇談 1	シラバス第三者チェックについて
	懇談 1	シラバス作成要領の改訂ポイントについて (2020 年度)
	懇談 1	IR コンソーシアムアンケート (2018 年度) の結果公開について
第 10 回 (2019 年 10 月 23 日)	協議 1	プロジェクト型授業奨励金について
	協議 2	シラバス作成要領の改訂ポイントおよびシラバス作成要領について
	懇談 1	シラバス第三者チェックにおける重点項目の設定について
第 11 回 (2019 年 11 月 27 日)	協議 1	シラバス第三者チェックにおける重点項目の設定について
第 12 回 (2020 年 2 月 5 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクト奨励金 公募要領について (2020 年度)
	協議 2	教育改革・改善プロジェクト 公募要領について (2020 年度)。
	協議 3	プロジェクト型授業奨励金について (2020 年度)
第 13 回 (2020 年 2 月 26 日)	依頼 1	アセスメントテスト「GPS-Academic」報告会実施について
	報告 1	I R 指標作成について (アセスメント・ポリシーに明示されたデータによる指標作成状況)

開催年月日	区分	議案事項
第 14 回 (2020 年 3 月 11 日)	協議 1	教育改革・改善プロジェクトの申請について①
	協議 2	教育改革・改善プロジェクトの申請について②
	協議 3	ブリリアントプロジェクトの申請について
	報告 1	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について①
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について②
	報告 3	ブリリアントプロジェクト 成果報告書について
	依頼 1	成蹊ティーチングアワード一次候補者の選考について

■ 経済学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 4 日)	審議 1	ティーチングアワード候補者推薦に関する申合せについて
	報告 1	研究倫理について ・ 1 年次の指導について ・ 3 年次の指導について
	懇談 1	2018 年度 ティーチングアワードの選定について
	懇談 2	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2019 年 4 月 18 日)	審議 1	2018 年度 ティーチングアワード候補者の選定について
第 3 回 (2019 年 5 月 16 日)	—	—
第 4 回 (2019 年 6 月 6 日)	懇談 1	2019 年度の FD 活動について
第 5 回 (2019 年 6 月 27 日)	報告 1	経済学部父母懇談会アンケート結果について
	懇談 1	2019 年度の FD 活動について
第 6 回 (2019 年 7 月 18 日)	懇談 1	2019 年度の FD 活動について
第 7 回 (2019 年 9 月 12 日)	報告 1	FD 研修会の開催について
第 8 回 (2019 年 10 月 10 日)	審議 1	IR 推進委員会実施アンケートの内容の検討について*
	報告 1	第 1 回経済学部 F D 研修会について
	懇談 1	前期授業評価アンケート結果について
第 9 回 (2019 年 10 月 31 日)	報告 1	シラバス作成依頼について
	懇談 1	2020 年度シラバスとりまとめについて
	懇談 2	2020 年度シラバス第三者チェックについて
第 10 回 (2019 年 11 月 21 日)	審議 1	2020 年度シラバスとりまとめについて
	懇談 1	2020 年度シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	2020 年度シラバス第三者チェック承認者について

開催年月日	区分	議案事項
第 11 回 (2019 年 12 月 5 日)	審議 1	2020 年度シラバス第三者チェックについて
	審議 2	FD 委員会等の開催日時について
第 12 回 (2019 年 12 月 19 日)	—	—
第 13 回 (2019 年 1 月 23 日)	報告 1	2020 年度シラバス第三者チェックについて
	報告 2	2020 年度シラバス第三者チェック承認者について
	報告 3	2020 年度シラバス第三者チェックについて
第 14 回 (2019 年 2 月 6 日)	報告 1	2020 年度シラバス入稿状況について
	報告 2	2020 年度シラバス第三者チェックによる修正について
	懇談 1	シラバス第三者チェックについて
	懇談 2	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2019 年 2 月 18 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
第 16 回 (2019 年 3 月 2 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビュー 入力率について
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正について
	懇談 1	ティーチングアワードについて
	懇談 1	2020 年度 FD 研修会実施計画について

■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 17 日)	報告等 1	2018 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2019 年 5 月 29 日)	報告等 1	2019 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 2	2019 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 3	卒業時アンケート（2018 年度）に関する件
	報告等 4	学生の学修時間の実態、学修行動の把握に関する調査（2018 年度）に関する件
第 3 回 (2019 年 6 月 19 日)	報告等 1	2019 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 2	2018 年度後期授業評価アンケート GPA クロス集計結果に関する件
第 4 回 (2019 年 9 月 25 日)	報告等 1	2014 年度～2017 年度入学生の卒業率に関する件

開催年月日	区分	議案事項
第5回 (2019年11月13日)	報告等1	2020年度シラバス入力に関する件
	報告等2	2020年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等3	2019年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等4	2019年度後期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等5	2018年度IRコンソーシアムアンケートの結果（一年生調査）に関する件
	報告等6	2018年度IRコンソーシアムアンケートの結果（上級生調査）に関する件
	報告等7	2008年度～2015年度入学生の卒業率に関する件
	報告等8	教授会前の定期的なFD活動について
第6回 (2019年12月19日)	報告等1	2019年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第7回 (2020年1月8日)	報告等1	2020年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
第8回 (2020年2月19日)	報告等1	2020年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等2	2017年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等3	2019年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件

■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2019年4月17日)	議題1	2018年度成蹊大学ティーチングアワードの選考について
	議題2	文学部における今年度のFD研修会について
第2回 (2019年5月9日～23日)※持ち回り開催	議題1	2018年度「学生の学修時間の実態・学修行動の把握に関する調査」の結果について
第3回 (2019年7月4日～18日)※持ち回り開催	議題1	2018年度後期の授業評価アンケート結果について
第4回 (2019年9月19日～10月3日) ※持ち回り開催	議題1	2019年度前期に実施された授業評価アンケート結果について
第5回 (2019年10月4日～7日・10月28日～11月5日) ※持ち回り開催	議題1	IR推進委員会実施アンケートの結果分析について
第6回 (2020年2月7日)	議題1	カリキュラム・フローとシラバス第三者チェックについて

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 2 日)	検討 1	ティーチング・アワードについて
	検討 2	学部・研究科の運営について
第 2 回 (2019 年 4 月 18 日)	検討 1	内部質保証シートの作成について
第 3 回 (2019 年 6 月 6 日)	検討 1	卒業生アンケートを題材とした FD 活動の実施について
	検討 2	内部質保証の資料（自己点検シート）作成について
第 4 回 (2019 年 6 月 8 日)	検討 1	内部質保証の資料作成について
第 5 回 (2019 年 6 月 27 日)	検討 1	2020 カリキュラムの修正について
	検討 2	法学政治学研究科における認証評価指摘事項への対応について
第 6 回 (2019 年 7 月 18 日)	検討 1	内部質保証における努力課題について
	検討 2	法学政治学研究科における認証評価指摘事項への対応について
第 7 回 (2019 年 9 月 12 日)	検討 1	重点学修認定制度について
	検討 2	初年次教育の内容明示について
	検討 3	シラバス第三者チェックについて
	検討 4	大学院カリキュラムの改編について
第 8 回 (2019 年 10 月 10 日)	検討 1	IR コンソーシアムアンケートについて
	検討 2	カリキュラムマップの検討について
	検討 3	大学院 3 ポリシーの検討について
第 9 回 (2019 年 10 月 31 日)	検討 1	法学部カリキュラムマップについて
	検討 2	大学院カリキュラムマップおよび 3 ポリシーについて
第 10 回 (2020 年 2 月 20 日)	検討 1	シラバス第三者チェックについて
第 11 回 (2020 年 3 月 2 日)	検討 1	内部質保証に係る指摘事項への対応について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD 関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2019 年 4 月 26 日)	協議 1	高等教育開発・支援センター運営会議の開催日程について
	懇談 1	2018 年度後期授業評価アンケート分析結果について（情報基盤科目）
	依頼 1	QLA の授業活用について
	報告 1	第 2 次中期計画について
	報告 2	オンライン教育検討プロジェクト最終報告について
	報告 3	高等教育開発・支援センター活動報告（FD・SD・ICT 講習会等）

開催年月日	区分	議案事項
第2回 (2019年6月14日)	懇談1	情報基盤科目部会の在り方について
	報告1	教育の質向上に向けたロードマップ2018の実行について
	報告2	第2次中期計画について
	報告3	「授業研究会」開催について
第3回 (2019年7月12日)	協議1	情報基盤科目部会の在り方について
第4回 (2019年9月12日)	—	(FD関連議題なし)
第5回 (2019年10月11日)	報告1	イベント関連報告：QLA合宿、CALL講習会
第6回 (2019年11月18日)	報告1	イベント関連：授業支援ボックス実運用講習会、FDセミナー「～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン」、授業研究会、シラバスワークショップ
第7回 (2019年12月19日)	報告1	イベント関連報告：FDセミナー「～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン」、授業研究会

■ FD 協議会

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2019年4月23日)	協議1	2019年度FD協議会の開催日程について
	依頼1	各学部等のFD参加状況把握について
	依頼2	授業研究会について
	依頼3	2019年度各学部等のFD活動計画について
	報告1	2019年度新任教員研修の開催報告
	報告2	新任教員研修への客員教員の参加について
	報告3	2019年度春季CALL講習会
	報告4	<実施計画>SCHED主催イベントについて
	報告5	スペシャル勉強会のお知らせ
第2回 (2019年6月4日)	報告1	2019年度授業研究会について
第3回 (2019年7月23日)	協議1	後期FD協議会の開催日程について
	報告1	各学部・研究科等でのFD活動状況について
	報告2	各学部・研究科等のFD参加状況について
	報告3	新任教員研修『上級救命講習』について
	報告4	授業研究会開催報告

開催年月日	区分	議案事項
第4回 (2019年10月15日)	協議1	令和元年度改革総合支援事業タイプ1について
	報告1	2021～2022年度成蹊大学FD活動方針について ・学部・国際教育センター各委員よりFD活動についての報告・総括
	報告2	令和元年度改革総合支援事業タイプ1について
	報告3	『2019年度QLA箱根合宿について（実施報告）』（8/23-25実施）
	報告4	『秋季CALL活用勉強会 開催報告』（9/5実施）
第5回 (2019年11月19日)	協議1	授業研究会の授業見学のみの参加について
	報告1	FDセミナー『～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン』開催報告（11/13実施）
	報告2	2019年度後期授業研究会の開催について（12/13開催予定）
	報告3	2019年度シラバスワークショップの開催について（12/20開催予定）
第6回 (2019年12月17日)	協議1	授業研究会の授業見学のみの参加について
	報告1	2019年度後期授業研究会開催報告（9/26、12/13実施）
第7回 (2020年1月21日)	依頼1	次期FD協議会委員の選任について
	依頼2	新任教員研修の開催について
	報告1	シラバスワークショップ（12/20実施）開催報告

■ 学内FD活動（★は学外公開）

日付	区分	内容	出席者
2019年4月2日	センター	教員向けICT環境・操作説明会	
2019年4月4日	センター	CALL活用勉強会（春期） チエル株式会社	3名
2019年4月5日	センター	新任教員研修	14名
2019年5月16日	学部	法学部FD研修会 「2018年度卒業満足度調査について」 野原 将揮（法学部）	29名
2019年6月25日	センター	授業研究会「地域福祉論」 澁谷 智子（文学部）	5名
2019年6月28日	センター	授業研究会「日本語ⅡロールプレイⅠ」 川上 麻里（全学教育講師）	2名
2019年7月2日	センター	授業研究会「情報基礎」 脊戸 和寿（理工学部）	5名
2019年7月17日	学部	文学部FD研修会 「ホワイトボードを用いたペアワーク実践」 喜岡 淳治（文学部）	38名

日付	区分	内容	出席者
2019年7月22日	センター	授業研究会「フレッシューズ・セミナー」 村上 朝之（理工学部） 柴田 昌明（理工学部） 小方 博之（理工学部）	1名
2019年9月5日	センター	CALL 活用勉強会（秋期） チエル株式会社	3名
2019年9月12日	学 部	法学部 FD 研修会 「2018 年度卒業生アンケート結果について」 野原 将揮（法学部）	25名
2019年9月17日	学 部	経済学部 FD 研修会「シラバス・レビュー」 井上 淳子（経済学部）	41名
2019年9月26日	センター	授業研究会「アメリカ政治外交論」 西山 隆行（法学部）	1名
2019年10月2日～ 4日	センター	授業支援ボックス実運用講習会 勝野 喜以子（大学・高等教育開発・支援センター副所長）	計9名
2019年10月10日	学 部	法学部 FD 研修会 「IR コンソーシアムアンケートの結果に基づく授業計画や教育 活動への活用について」 金 光旭（法学部）	FD 委員長 ・委員
2019年10月10日	学 部	法学部 FD 研修会 「IR コンソーシアムアンケートの結果について」 金 光旭（法学部）	26名
2019年11月13日	センター	FD セミナー★ 「～学生と一緒に考える～学習成果を見据えた授業デザイン」 岩崎 千晶（関西大学）	29名
2019年12月13日	センター	授業研究会「マクロ経済学入門Ⅱ」 井上 智夫（経済学部）	1名
2019年12月17日	国 際	国際教育センター（英語教員）FD「授業時のアイスブレイク法 およびウォームアップ活動について」 Christopher Madden（国際教育センター） Hiroaki Umehara（国際教育センター）	13名
2019年12月20日	センター	シラバスワークショップ 甲斐 宗徳（理工学部）	2名
2020年1月16日	センター	『2019 International Learning Assistant Conference』参加 報告会 井上 智夫（経済学部） 鈴木 史馬（経済学部）	11名

■ ティーチングアワード（2018 年度）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
俊野 雅司	経済学部教授	上級演習
伊藤 公哉	経済学部准教授	フレッシュヤーズ・セミナー
田中 研太郎	経済学部准教授	情報分析演習
作間 啓太	理工学部助教	基礎物理学、システムデザイン実験
菅原 一輝	理工学部助教	基礎生物学、理工学計算
高瀬 裕	理工学部助教	上級プログラミング、応用プログラミング実験
有富 純也	文学部教授	日本の歴史と文化、基礎演習
李 林静	法学部教授	中国語基礎、異文化理解 A（ことばと文化の窓）
野原 将揮	法学部准教授	中国語基礎、文化演習（中国語圏）
萩澤 達彦	法科大学院教授	民事訴訟法、民事手続法系諸科目

■ 六大学合同 SD・FD 研修会

開催日	テーマ
2019 年 10 月 4 日	学修成果の可視化を改革に活かす ー学生の学びを中心に据えた大学を目指してー

■ 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」派遣者

氏名（所属）	派遣期間・会場	テーマ
井上 慶太（経済学部）	2019 年 8 月 7 日・8 日 グランドホテル浜松	大学教員の職能開発と FD
齋藤 守弘（理工学部）	2019 年 8 月 8 日・9 日 グランドホテル浜松	大学教員の職能開発と FD

■ QLA 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会） 2019 年 10 月 1 日※ 10 月 8 日・10 月 15 日・10 月 22 日・ 11 月 5 日・11 月 12 日・11 月 19 日・11 月 26 日・ 12 月 3 日・12 月 10 日・12 月 17 日	講師： 勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部） 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2020 年 1 月 30 日	修了生：17 名

<2020 年度>

コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校、自粛対応等により、後期より再開した授業研究会を除き、企画を中止した。

■ 全学 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 9 日)	報告 1	プロジェクト型授業 成果報告書について①②③④
	報告 2	教育改革・改善プロジェクト 成果報告書について①②③④
	報告 3	ブリリアントプロジェクト 成果報告書について①②
	報告 4	新任専任教員向け FD 推進ワークショップの参加者募集について
第 2 回 (2020 年 6 月 17 日)	協議 1	成蹊ティーチングアワードの二次選考について
第 3 回 (2020 年 7 月 1 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクトの申請について
	報告 1	IR 報告会(「GPS-Academic」結果報告会)開催記録について
第 4 回 (2020 年 9 月 9 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について
	報告 1	学生の学修時間の実態及び学修行動について
第 5 回 (2020 年 10 月 7 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について①②
	協議 2	FD 活動のための調査・分析に必要な個人情報利用について
第 6 回 (2020 年 10 月 21 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について
第 7 回 (2021 年 1 月 13 日)	協議 1	プロジェクト型授業の申請について
	依頼 1	「数理・データサイエンス・AI と社会との繋がりを考える」FD 研修(オンデマンド配信)実施について
第 8 回 (2021 年 3 月 10 日)	協議 1	ブリリアントプロジェクト奨励金 公募要領について(2021 年度)
	協議 2	教育改革・改善プロジェクト 公募要領について(2021 年度)
	協議 3	プロジェクト型授業奨励金 公募要領について(2021 年度)
	協議 4	FD 基本方針の一部改正について
	協議 5	成蹊大学における FD 活動方針の一部改正について
	依頼 1	成蹊ティーチングアワードの一次候補者の選考について

■ 経済学部(新・旧)・経営学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 5 日)	報告 1	2019 年度後期 授業評価アンケート集計結果の分析について*
	懇談 1	2019 年度 ティーチングアワードの選出について
	懇談 2	FD 研修の年間計画について
第 2 回 (2020 年 4 月 16 日)	審議 1	2019 年度 ティーチングアワードの候補者の選定について

開催年月日	区分	議案事項
第3回 (2020年5月14日)	審議1	FD活動の現状について
第4回 (2020年5月28日)	審議1	シラバスの修正と第三者チェックについて
	報告1	授業評価アンケート（前期）の実施について
	審議3	2020年度のFD活動について*
第5回 (2020年6月10日)	報告1	シラバスの修正について
第6回 (2020年7月16日)	審議1	2020年度のFD活動について*
	審議2	シラバスの修正と第三者チェックについて
第7回 (2020年9月17日)	審議1	2020年度授業研究会について
	報告1	FD研修会の開催について
	報告2	シラバスの修正について
	その他1	SD研修：ブレンディッドラーニング研修の受講について
第8回 (2020年10月15日)	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
	報告1	FD協議会について (1) 2020年度 授業研究会について (2) 各学部等のFD活動参加状況について (3) 2020年度QLA育成プログラム実施案について
	報告2	第1回新・旧経済学部・経営学部FD研修会について
	懇談1	前期授業評価アンケート結果について
第9回 (2020年10月29日)	報告1	シラバス作成依頼について
	懇談1	2021年度シラバスとりまとめについて
	懇談2	2021年度シラバス第三者チェックについて
第10回 (2020年11月19日)	審議1	2021年度シラバスとりまとめについて
	審議2	2021年度シラバス第三者チェックについて
	審議3	2021年度第三者チェックに関する依頼について
	報告1	後期 授業評価アンケートの実施について
	懇談1	2021年度 シラバス第三者チェック承認者について
第11回 (2020年12月3日)	審議2	2021年度シラバス第三者チェック承認者について
	審議2	FD委員会等の開催日時について
	審議2	2021年度シラバス作成等の依頼について
	報告2	2021年度第三者チェックに関する依頼について
第12回 (2020年12月15日)	報告1	2020年度授業研究会について
第13回 (2021年1月21日)	報告1	2021年度シラバス第三者チェック承認者について
	報告2	2021年度シラバス第三者チェック承認者について
	報告3	学生アンケート（2年生・10月-12月）自由回答「本学への要望」について
	報告4	「数理・データサイエンス・AIと社会とのつながりを考える」FD研修（オンデマンド配信）実施について

開催年月日	区分	議案事項
第 14 回 (2021 年 2 月 6 日)	報告 1	シラバス入稿状況について
	懇談 1	14 カリキュラム申し合わせの改変について
第 15 回 (2021 年 2 月 16 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について
第 16 回 (2021 年 3 月 1 日)	報告 1	授業評価アンケート セルフレビューについて
	報告 2	シラバス第三者チェックによる修正依頼について
	審議 2	ティーチングアワードについて
	懇談 1	2021 年度 FD 研修会実施計画について

■ 理工学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 15 日)	議題 1	2019 年度ティーチングアワード選出に関する件
第 2 回 (2020 年 6 月 10 日)	報告等 1	2019 年度後期授業評価アンケート集計結果に関する
	報告等 2	2020 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する
	報告等 3	1 年生・3 年生 IR コンソーシアムアンケート (2019 年度) に関する件
	報告等 4	2 年生「学生の学修時間の実態、学修行動の把握に関する調査」(2019 年度) に関する件
	報告等 5	2020 年度 FD 活動に関する件
	報告等 6	2020 年度 FD 協議会に関する件
第 3 回 (2020 年 7 月 8 日)	報告等 1	2020 年度前期授業評価アンケート実施に関する件
	報告等 2	卒業時アンケート (2019 年度) に関する件
第 4 回 (2020 年 9 月 30 日)	報告等 1	2020 年度 FD 活動に関する件
	報告等 2	2019 年度及び 2020 年度 入学年度別 履修科目数と履修単位数に関する件
第 5 回 (2020 年 11 月 11 日)	報告等 1	2021 年度シラバス入力に関する件
	報告等 2	2021 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 3	2020 年度前期授業評価アンケート集計結果に関する件
	報告等 4	2020 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 6 回 (2020 年 12 月 23 日)	報告等 1	2020 年度後期授業評価アンケート実施に関する件
第 7 回 (2021 年 1 月 13 日)	報告等 1	2021 年度シラバス第三者チェックの実施に関する件
	報告等 2	2020 年度後期授業評価アンケート結果に関する件
第 8 回 (2021 年 2 月 18 日)	報告等 1	2020 年度シラバス第三者チェック実施に関する件
	報告等 2	2020 年度後期授業評価アンケート結果に関する件
	報告等 3	2020 年度成蹊ティーチングアワード選出に関する件
	報告等 4	定期的な F D 活動に関する件

■ 文学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 6 日～ 16 日)※持ち回り開催	議題 1	2019 年度成蹊大学ティーチングアワードの選考について
第 2 回 (2020 年 5 月 23 日～ 6 月 20 日) ※持ち回り開催	議題 1	2019 年度「学生の学修成果に関するアンケート」の結果検討について
第 3 回 (2020 年 5 月 29 日)	議題 1	2020 年度前期シラバス修正に伴う第三者チェックについて
第 4 回 (2020 年 7 月 4 日～8 日) ※持ち回り開催	議題 1	2020 年度文学部 FD 研修会開催について
第 5 回 (2020 年 7 月 29 日)	議題 1	後期開講科目シラバス修正のための第三者チェックについて
第 6 回 (2021 年 1 月 21 日～ 28 日)	議題 1	2021 年度シラバス第三者チェックについて
第 7 回 (2021 年 2 月 17 日)	議題 1	2021 年度シラバス第三者チェックの進捗状況について

■ 法学部 FD 委員会

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 4 月 9 日)	検討 1	前期科目の成績評価及び試験について
	検討 2	学部・研究科の運営について
第 2 回 (2020 年 5 月 14 日)	検討 1	新型コロナウイルス感染疑いの場合の出席の取り扱いについて
第 3 回 (2020 年 6 月 4 日)	検討 1	卒業生アンケートを題材とした FD 活動の実施について
第 4 回 (2020 年 6 月 24 日)	検討 1	内部質保証に関わる資料の作成について
第 5 回 (2020 年 7 月 16 日)	議題 1	後期の授業形態について
第 6 回 (2020 年 9 月 17 日)	検討 1	対面授業の拡大の検討について

開催年月日	区分	議案事項
第7回 (2020年11月19日)	検討1	2021年度新2年生の授業形態について
第8回 (2020年12月3日)	検討1	2021年度新2年生の授業形態について
第9回 (2020年12月17日)	検討1	2021年度前期の授業形態について
	検討2	PC必携化について
第10回 (2021年1月21日)	検討1	IR指標の意見交換会への参加者および実施日について
	検討2	「数理・データサイエンス・AIと社会との繋がりを考える」FD研修（オンデマンド配信）の実施について
第11回 (2021年2月19日)	検討1	シラバス第三者チェックについて
第12回 (2021年3月1日)	検討1	内部質保証について

■ 高等教育開発・支援センター運営会議（FD関連のみ）

開催年月日	区分	議案事項
第1回 (2020年6月19日)	協議1	2019年度後期授業評価アンケート分析結果について（情報基盤科目）
	依頼1	QLAの授業活用について
	報告1	高等教育開発・支援センター活動報告（FD・SD・ICT講習会等）について
第2回 (2020年7月9日)	報告1	2019年度後期授業評価アンケート分析結果について（情報基盤科目）
第3回 (2020年9月3日)	報告1	2020年度「授業研究会」実施要領について
第4回 (2020年10月8日)	報告1	FD関連：QLA育成プログラム・授業研究会の実施について
第5回 (2020年11月12日)	懇談1	高等教育開発・支援センター運営会議とFD協議会の役割分担について
	報告1	FD関連：授業研究会の実施について
第6回 (2020年12月10日)	報告1	FD関連：授業研究会の実施について
	報告2	授業評価アンケートの分析結果について（情報基盤科目）
第7回 (2021年1月14日)	報告1	FD関連：授業研究会の実施について
第8回 (2021年2月24日)	協議1	「成蹊大学高等教育開発・支援センター規則」の改正案について

■ FD 協議会 ※FD 協議会は 2020 年度をもって廃止

開催年月日	区分	議案事項
第 1 回 (2020 年 7 月 10 日)	協議 1	2020 年度 FD 協議会の開催日程について
	依頼 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	依頼 2	授業研究会について
	依頼 3	2020 年度各学部等の FD 活動計画について
	報告 1	高等教育開発・支援センター主催 FD 計画
第 2 回 (2020 年 9 月 8 日)	協議 1	授業研究会の実施要領（案）について
	協議 2	FD 活動方針について
	報告 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	報告 2	令和 2 年度私立大学改革総合支援事業タイプ 1 について
第 3 回 (2020 年 10 月 9 日)	協議 1	授業研究会について
	協議 2	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	依頼 1	FD セミナーについて
	報告 1	各学部等の FD 参加状況把握について
	報告 2	QLA 育成プログラムへの所員の参加について
第 4 回 (2020 年 11 月 13 日)	協議 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	報告 1	授業研究会の実施状況について
第 5 回 (2020 年 12 月 16 日 ～22 日) ※持ち回り	依頼 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	報告 1	授業研究会の開催報告
	報告 1	シラバスワークショップの開催取りやめについて
第 6 回 (2021 年 1 月 15 日)	協議 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について
	報告 1	QLA 育成プログラム修了式の開催について
第 7 回 (2021 年 2 月 2 日～9 日) ※持ち回り	依頼 1	2021～2022 年度成蹊大学 FD 活動方針について

■ 学内 FD 活動 (★は学外公開)

日付	区分	内容	出席者
2020 年 4 月 8 日	センター	春季 CALL 講習会 チエル株式会社	名
2020 年 6 月 4 日	学 部	法学部 FD 研修会 「学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査）について」 平石 耕（法学部）	31 名
2020 年 7 月 15 日	学 部	文学部 FD 研修会 「オンライン授業の可能性と課題」 平山 真奈美（文学部）	39 名

日付	区分	内容	出席者
2020年7月16日	学 部	法学部 FD 研修会 「オンライン授業に関する教員・学生アンケートについて」 平石 耕（法学部）	33 名
2020年9月17日	学 部	新・旧経済学部・経営学部 FD 研修会 「オンライン授業のための動画の”受講者を限定した”公開方法について」 鈴木 史馬（経済学部）	48 名
2020年9月17日	学 部	法学部 FD 研修会 (1) オンライン授業に関する学生コメントについて (2) 「学生の学修成果に関するアンケート（卒業生満足度調査）について（再）」 (3) 「オンライン授業の導入の経緯とアンケート結果について」 平石 耕（法学部）	33 名
2020年11月5日	センター	授業研究会「機器分析Ⅰ」 青柳 理果（理工学部）	1 名
2020年11月12日	センター	授業研究会「現代の国際関係」 遠藤 誠治（法学部）	2 名
2020年11月24日	センター	授業研究会「マクロ経済学Ⅱ」 庄司 俊章（経済学部・経営学部）	8 名
2020年12月15日	国 際	国際教育センター（英語教員）FD「共同研究結果の報告および オンライン授業における効果的な教育手法について」 Purdon Jamie（国際教育センター） Quenby Hoffman Aoki（国際教育センター）	14 名
2020年12月15日	センター	授業研究会「文化人類学入門Ⅱ」 細谷 広美（文学部）	1 名

■ ティーチングアワード（2019 年度）受賞者

氏名	所属・役職	主な科目名
井上 淳子	経済学部教授	マーケティング
鈴木 史馬	経済学部教授	マクロ経済学入門
庄司 俊章	経済学部助教	マクロ経済学入門
井内 勝哉	理工学部助教	物質生命実験、遺伝子工学
坂本 真仁	理工学部助教	基礎プログラミング実験、上級プログラミング実験
氷室 貴大	理工学部助教	基礎物理学、システムデザイン実験
平山 真奈美	文学部准教授	英語音声学、英語学概論
西山 隆行	法学部教授	演習、アメリカ政治外交論
今井 貴子	法学部教授	政治学への案内
クリストファー マデン	国際教育センター常勤講師	College English、Cross Cultural Communication Skills
ジェイミ パードン	国際教育センター常勤講師	English for the Workplace

■ 日本私立大学連盟「FD 推進ワークショップ」派遣者

氏名（所属）	派遣期間・会場	テーマ
山崎 紅（経営学部）	2020 年 12 月 13 日 オンライン開催	学生のコミュニティ形成や学習支援・生活支援の方策について
鈴木 誠一（理工学部）	2020 年 12 月 13 日 オンライン開催	オンライン授業の現状と課題について

■ QLA 育成プログラム

内容	日付	備考
育成プログラム	全 10 回（※は体験講習会） 2020 年 10 月 6 日※ 10 月 13 日・10 月 20 日・10 月 27 日・ 11 月 10 日・11 月 17 日・11 月 24 日・ 12 月 1 日・12 月 8 日・12 月 15 日・12 月 22 日	講師： 勝野喜以子（学長直属） 岩田淳子（文学部） 高等教育開発・支援センター 教育開発・支援課
修了式	2021 年 1 月 29 日	修了生：11 名

10 - 2 2021 年度全学 FD 委員会委員一覧

2021 年度全学 FD 委員会の委員は以下の通りである。

氏名		役職
委員長	北川 浩	学長
委員	里村 和秋	副学長
委員	坪村 太郎	副学長
委員	小田 宏信	経済学部長
委員	小池 淳	理工学部長
委員	見城 武秀	文学部長
委員	金 光旭	法学部長
委員	上田 泰	経営学部長
委員	富谷 光良	高等教育開発・支援センター所長
委員	濱田 佳通	学長室長
委員	高橋 章建	教務部長

事務局：高等教育開発・支援センター教育開発・支援課

10 - 3 2021 年度高等教育開発・支援センター所長・所員一覧

2021 年度高等教育開発・支援センター所長・所員は以下の通りである。

氏名		役職
所長	富谷 光良	理工学部教授
所員	山崎 由香里	経営学部教授（※経済学部兼任）
所員	鳥毛 明	理工学部准教授
所員	有富 純也	文学部教授
所員	湯原 心一	法学部教授

2021 年度 成蹊大学 FD 活動報告書

発行日 2022 年 3 月 31 日

発 行 成蹊大学全学 FD 委員会

(事務局：高等教育開発・支援センター)

180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

0422-37-3611 (直通)

本報告書の記載内容について、無断転載・引用・改変を禁じます